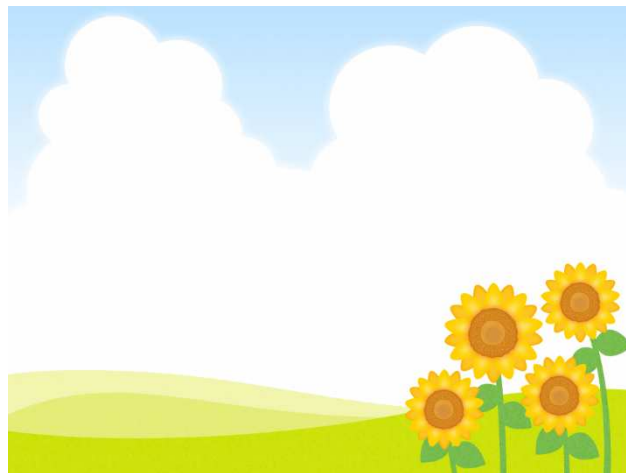


笠岡市男女共同参画に
関する市民意識調査結果



平成29年7月

笠岡市市民生活部人権推進課

目 次

| | | |
|------|---------------------|----|
| I | 調査概要 | 1 |
| 1 | 調査の目的 | 1 |
| 2 | 調査方法と回収結果 | 1 |
| (1) | 調査地区 | 1 |
| (2) | 調査対象者 | 1 |
| (3) | 抽出方法 | 1 |
| (4) | 調査方法 | 1 |
| (5) | 調査期間 | 1 |
| (6) | 回収結果 | 1 |
| (7) | 留意点 | 1 |
| II | 男女の役割分担意識や家族観について | 2 |
| III | 各分野における男女の地位 | 10 |
| IV | 地域社会、家庭の中での男女平等について | 15 |
| V | 職場の中での男女平等について | 20 |
| VI | 学校の中での男女平等について | 21 |
| VII | 男女間の暴力について | 22 |
| VIII | 生涯を通じた男女の健康について | 26 |
| IX | 男女共同参画社会の実現について | 27 |
| X | 回答者について | 28 |

I 調査概要

1 調査の目的

この調査は、男女共同参画について市民の皆様のご意見をお聴きし、今後の施策の参考とさせていただくことを目的として実施しました。

2 調査方法と回収結果

(1) 調査地区

岡山県笠岡市全域

(2) 調査対象者

市内在住の18歳以上の男女2,000人

(3) 抽出方法

平成29年4月1日現在 満18歳以上の市民から無作為抽出

(4) 調査方法

郵送配布・郵送回収によるアンケート調査

(5) 調査期間

平成29年6月12日から平成29年7月7日

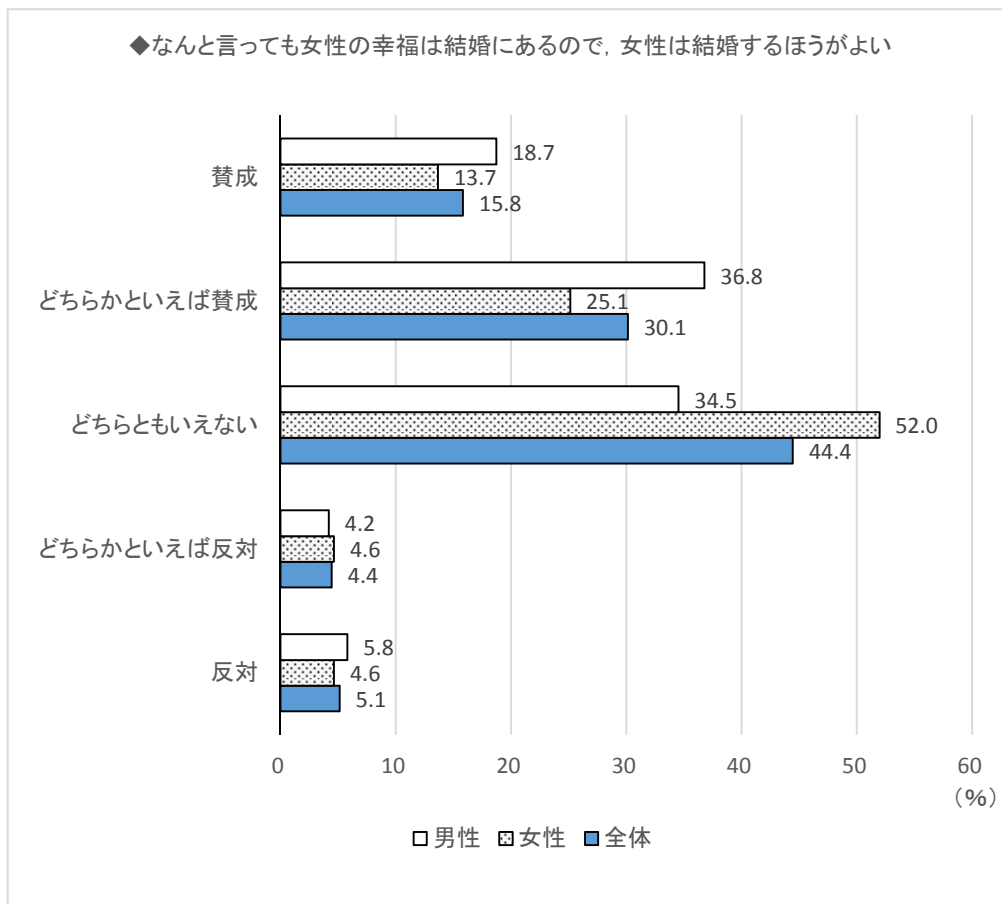
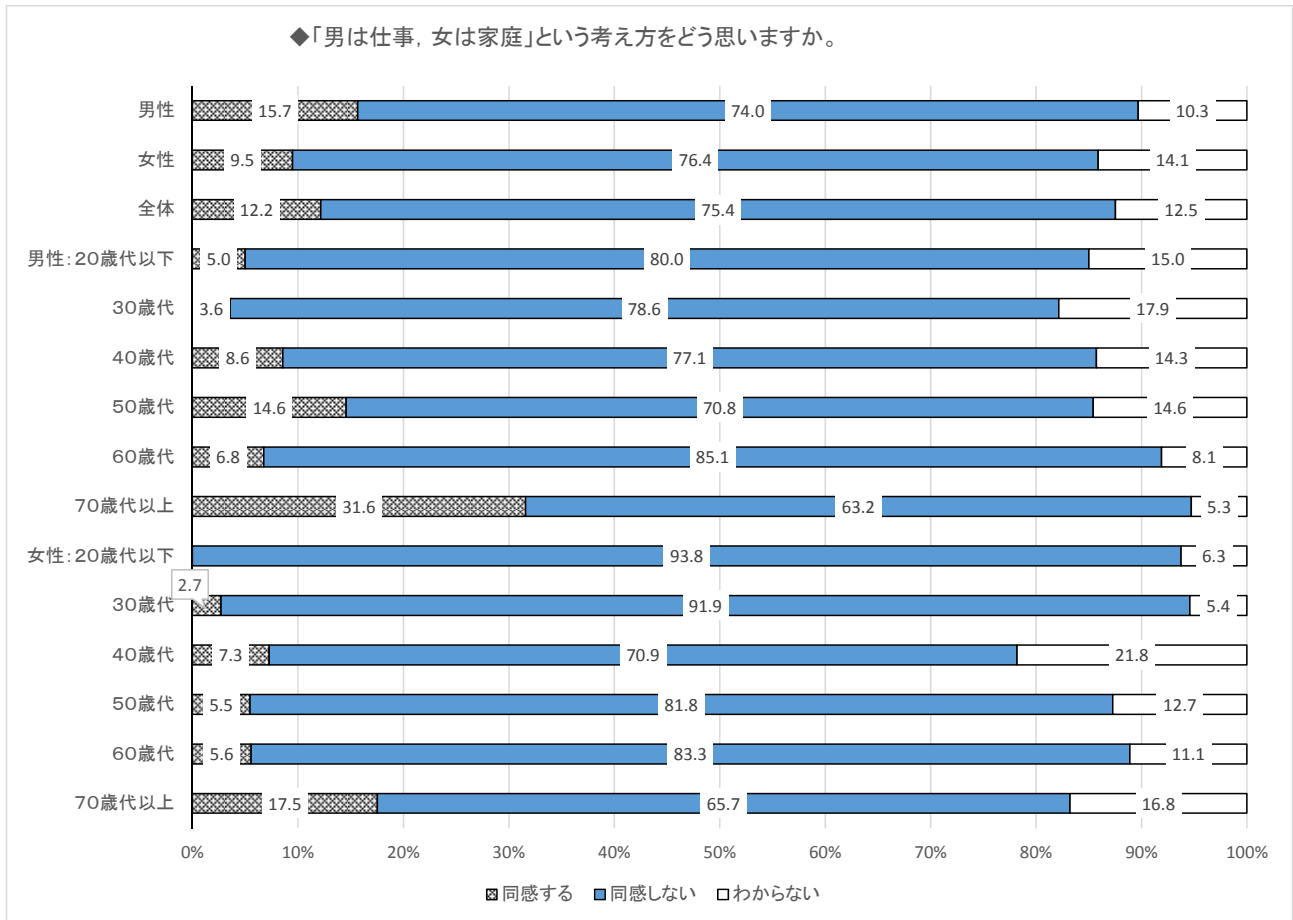
(6) 回収結果

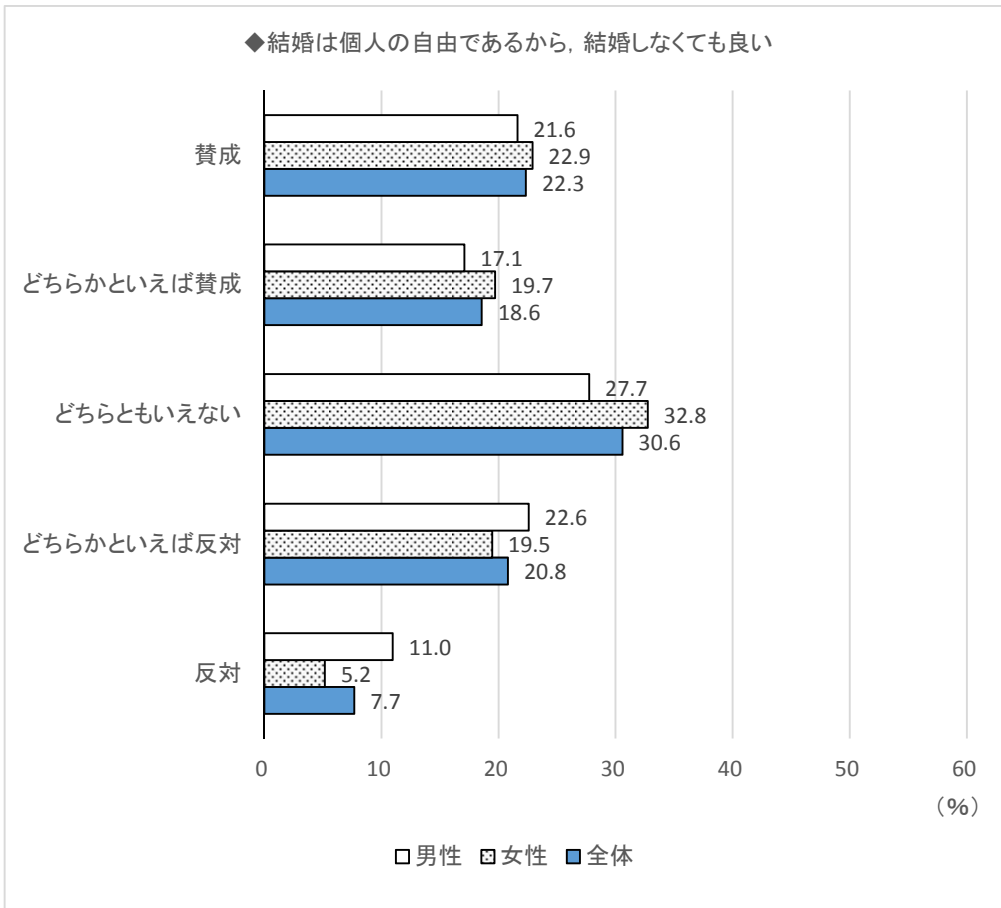
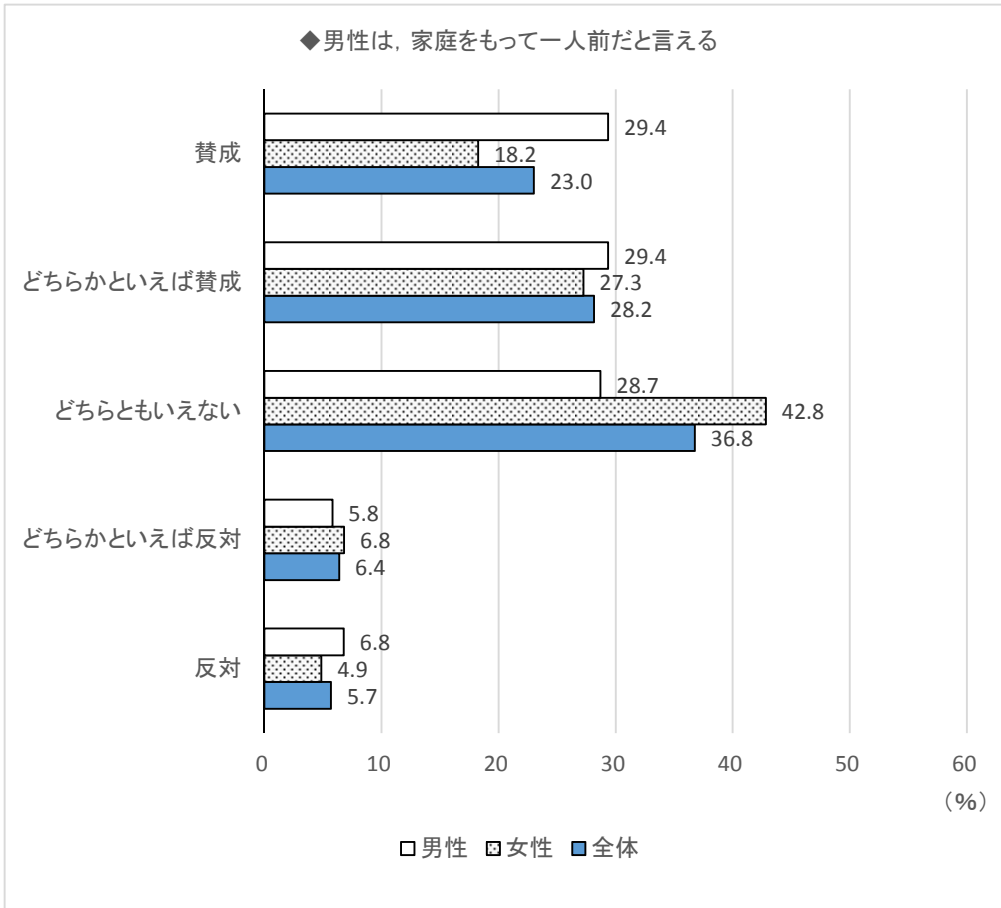
| 抽出数 | 有効回収数 | 有効回収率 |
|--------|-------|-------|
| 2,000人 | 767人 | 38.4% |

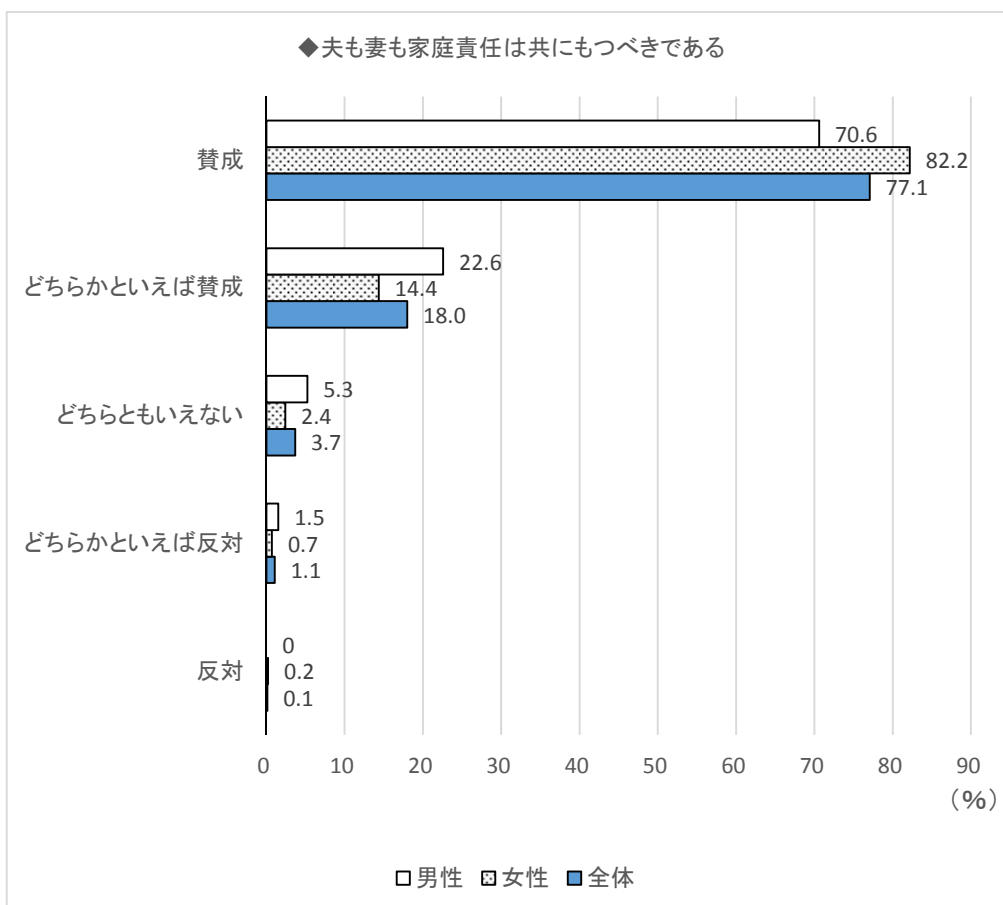
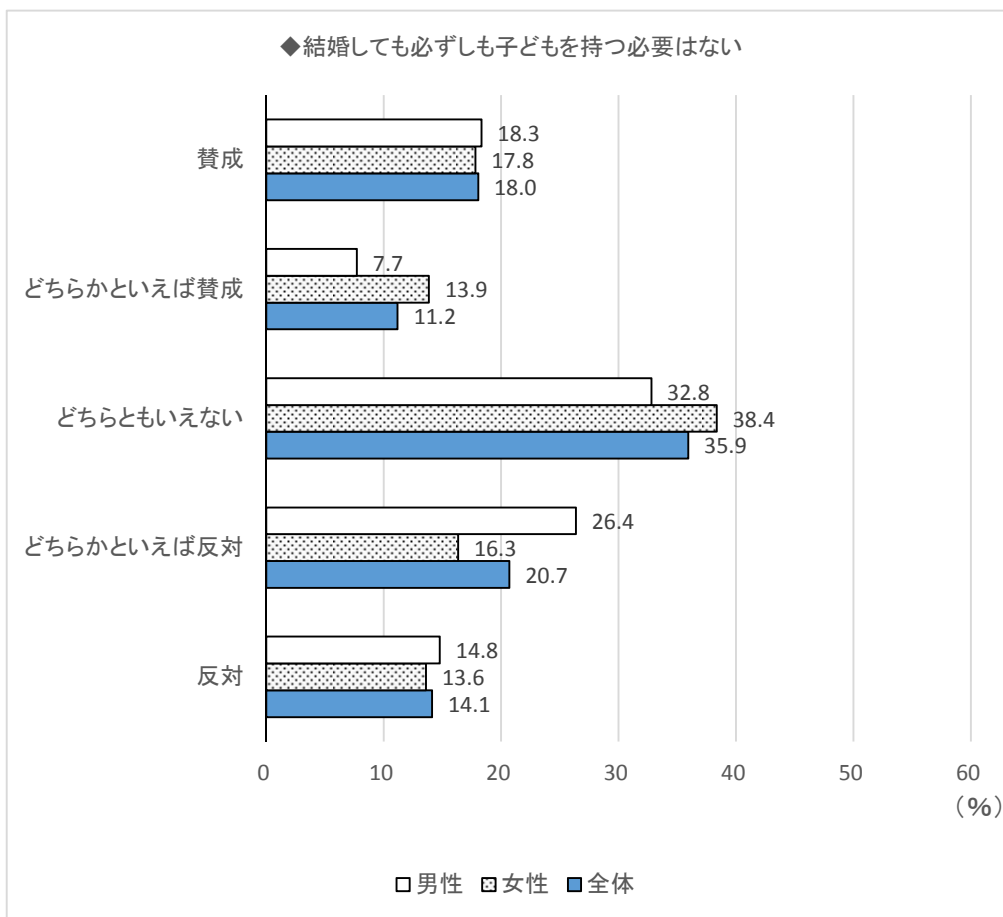
(7) 留意点

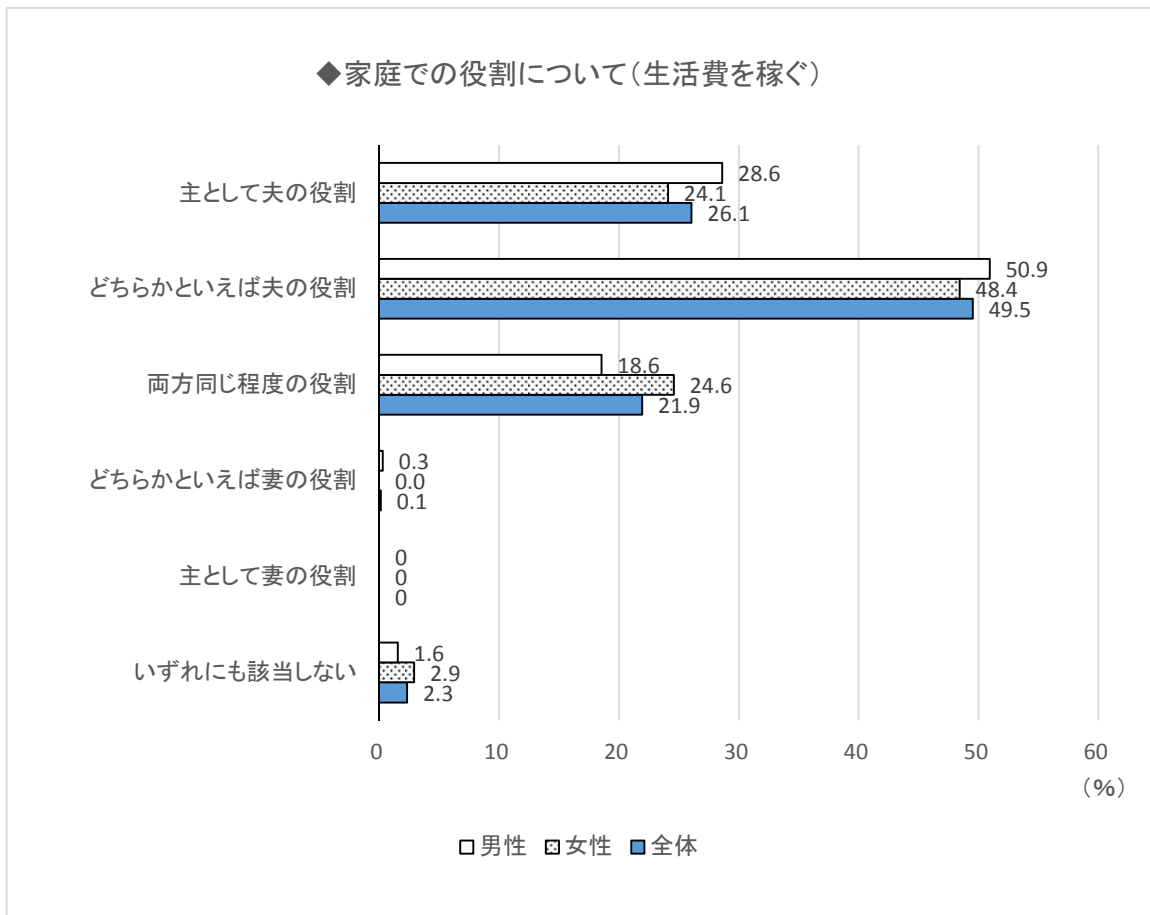
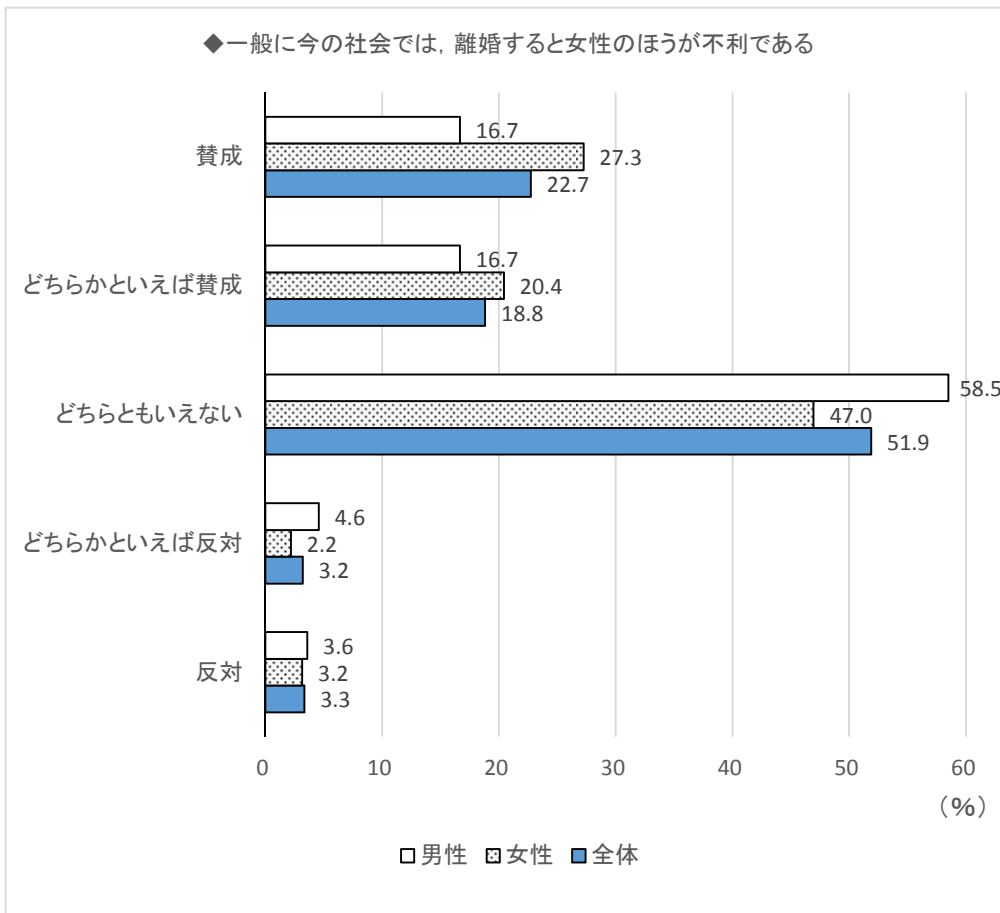
- ・算出されたパーセンテージは少数第二位を四捨五入して、少数第一位までの表示としているため、合計が100.0%にならない場合があります。
- ・20歳代以下の表示は、18歳以上29歳以下を示しています。
- ・一部の人を対象とする質問では、質問該当者数を分母にして算出しました。
- ・複数回答の質問では、回答の合計を分母として算出しました。

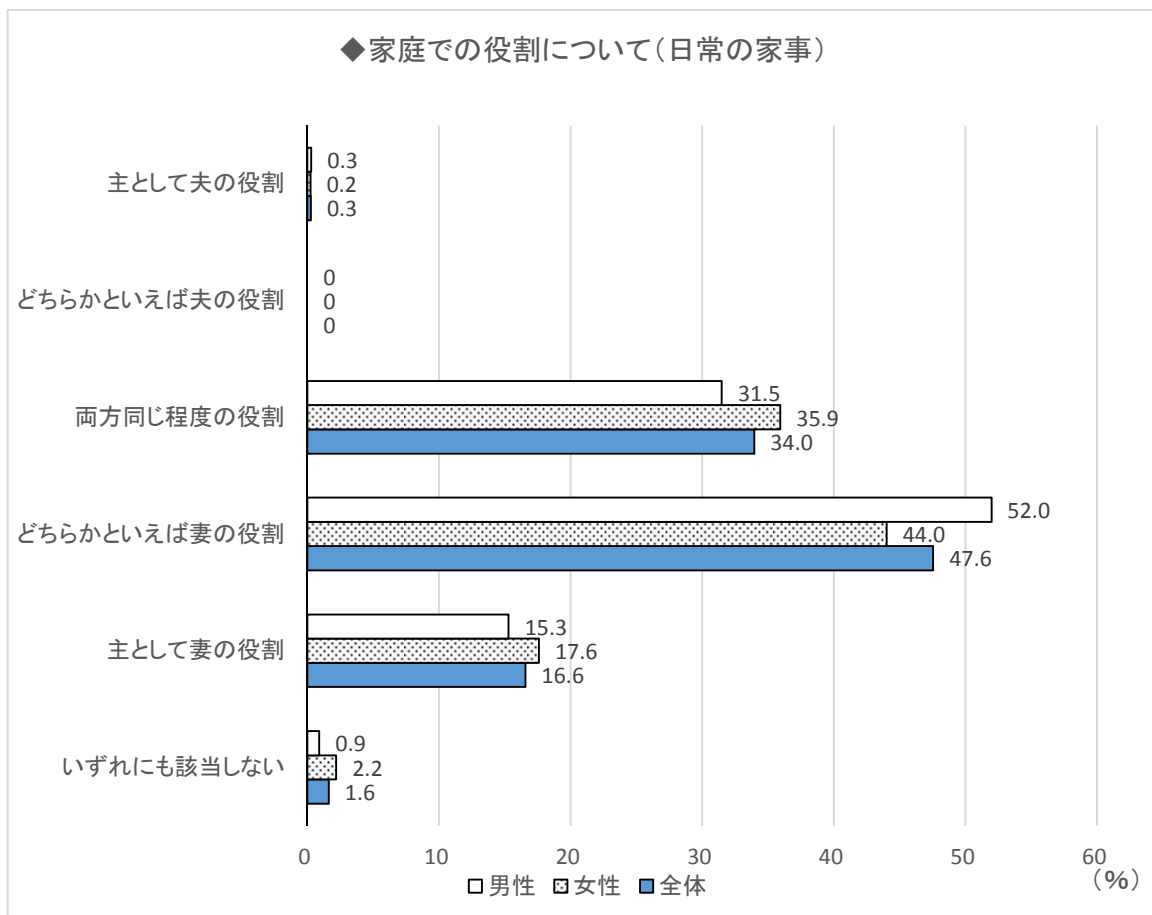
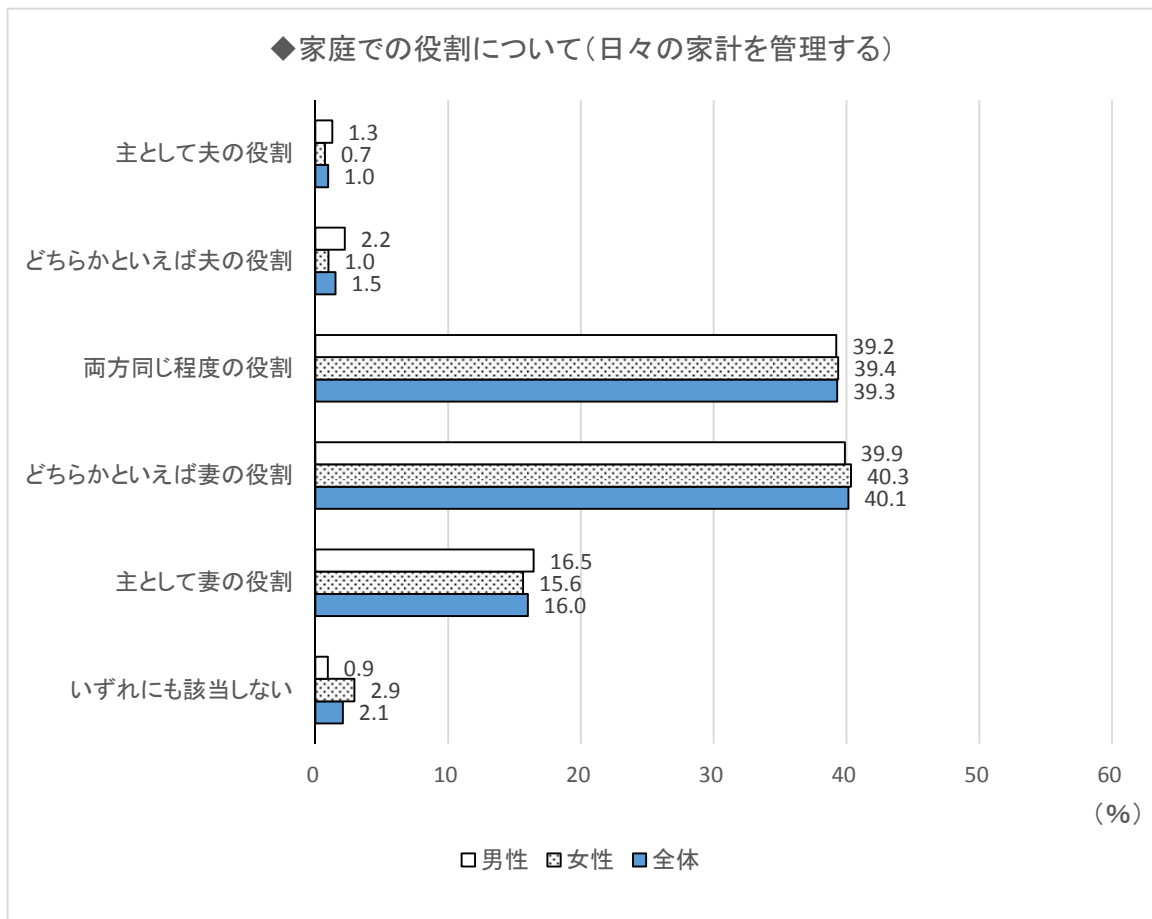
Ⅱ 男女の役割分担意識や家族観について



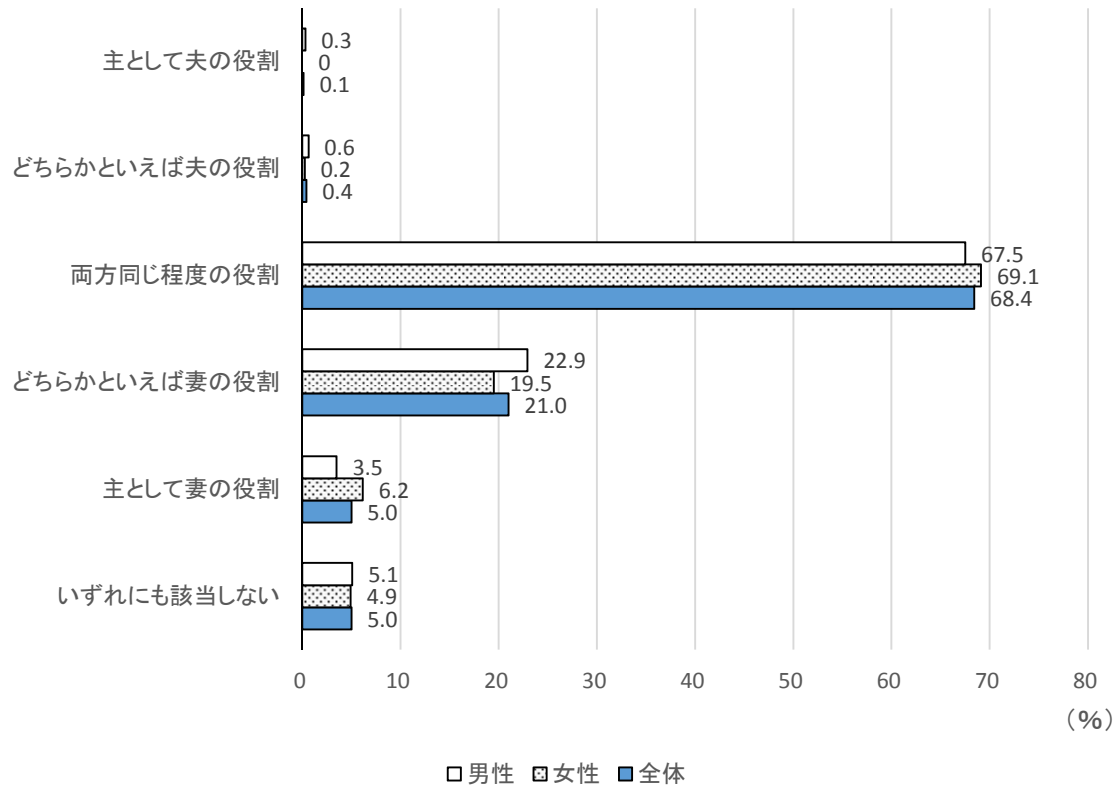




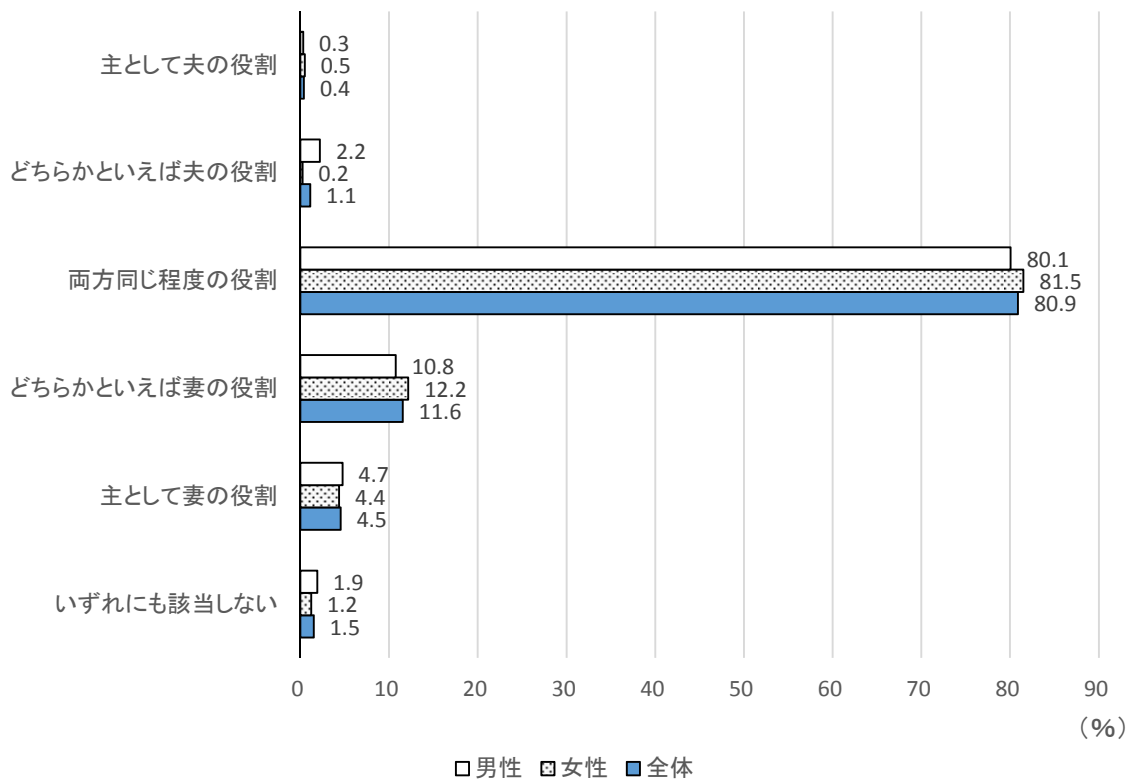


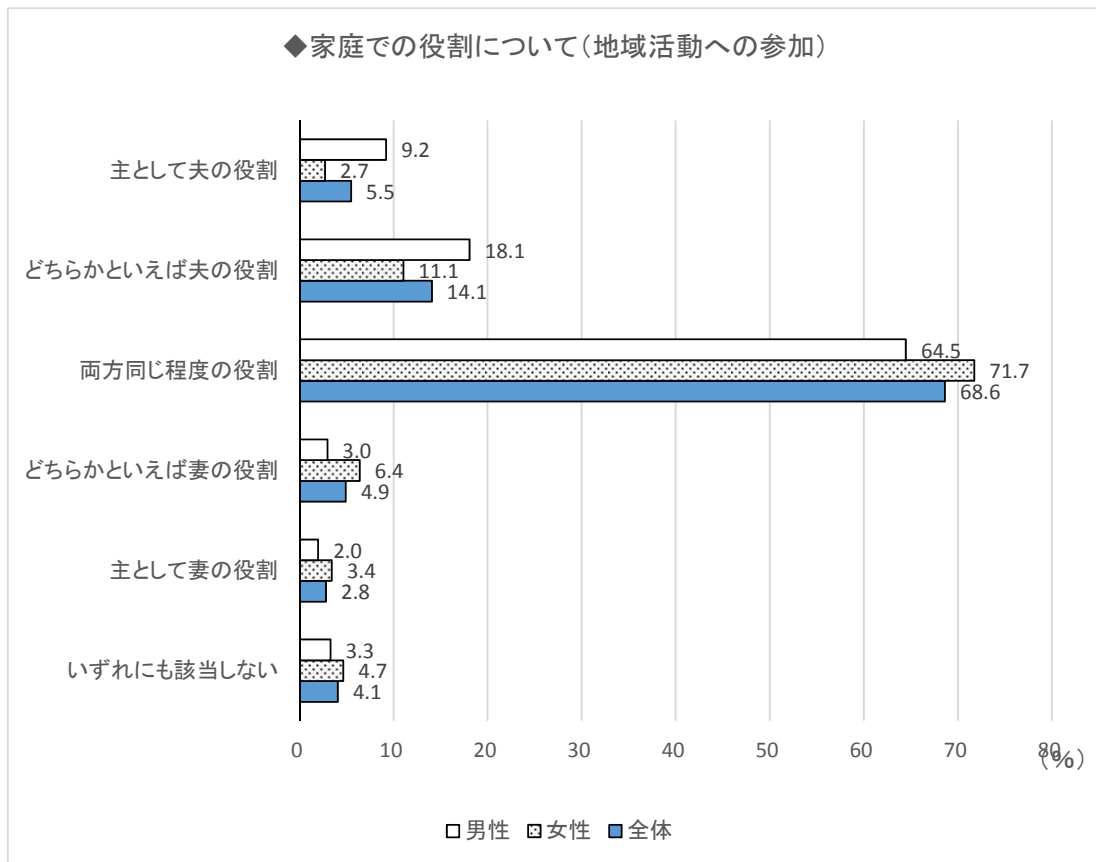
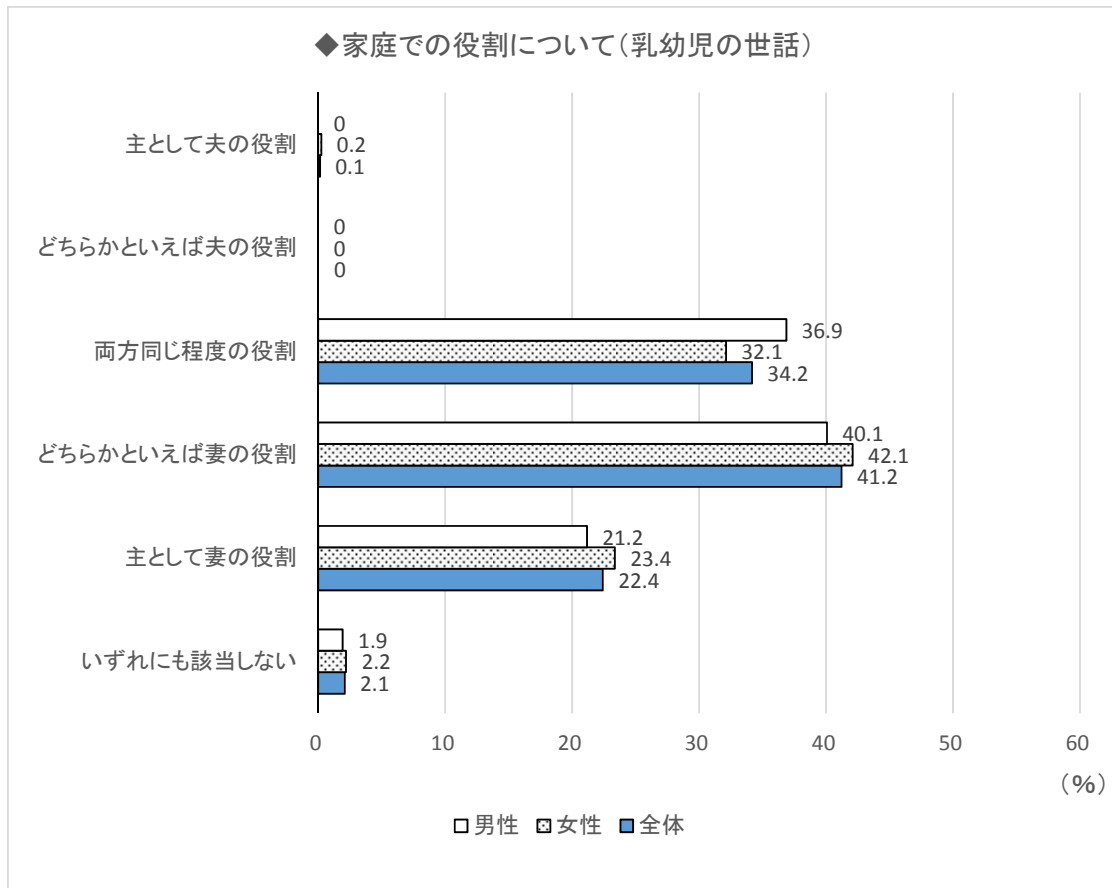


◆家庭での役割について(親や病身者の介護や看護)

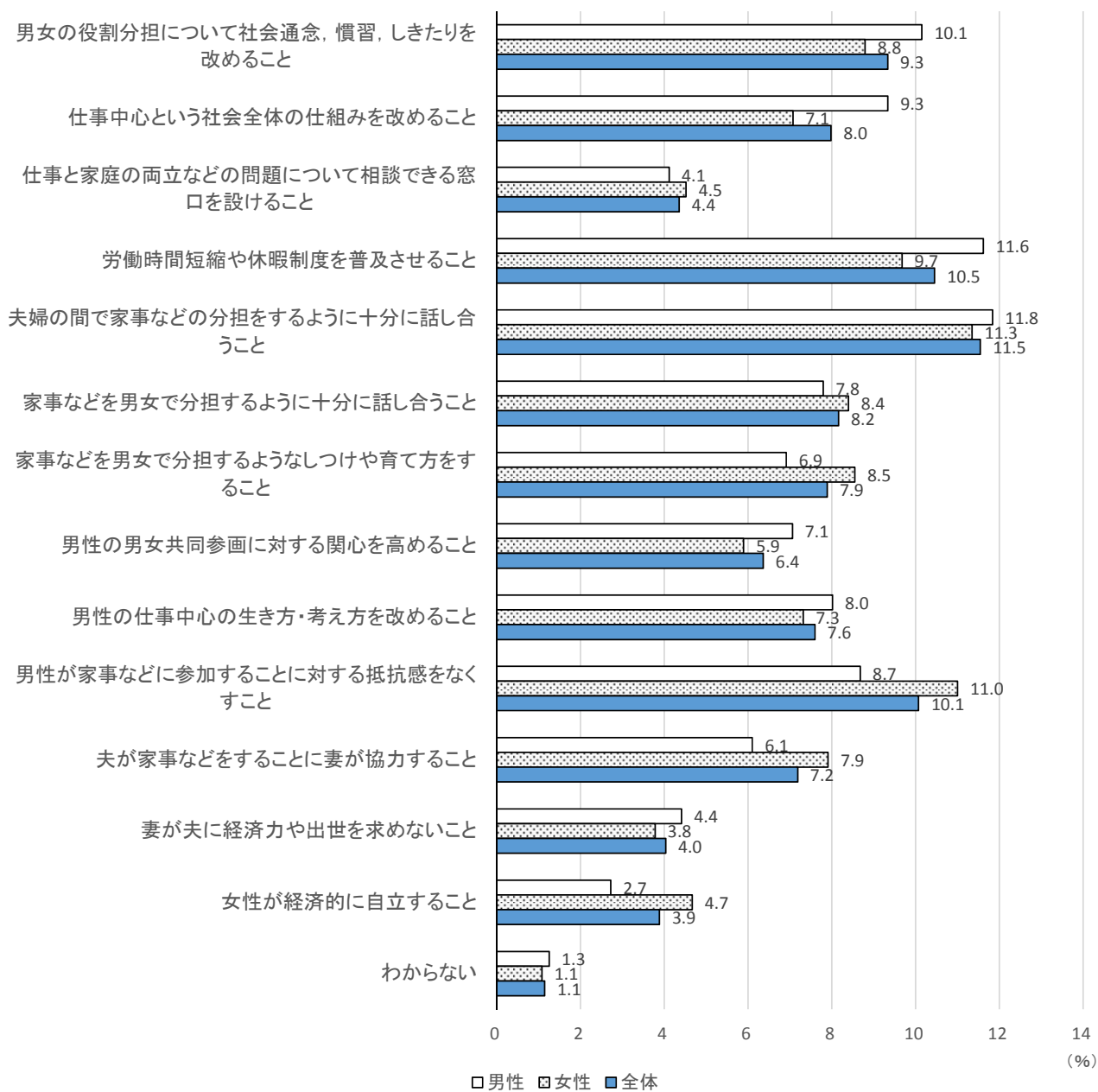


◆家庭での役割について(子どもの教育やしつけ)

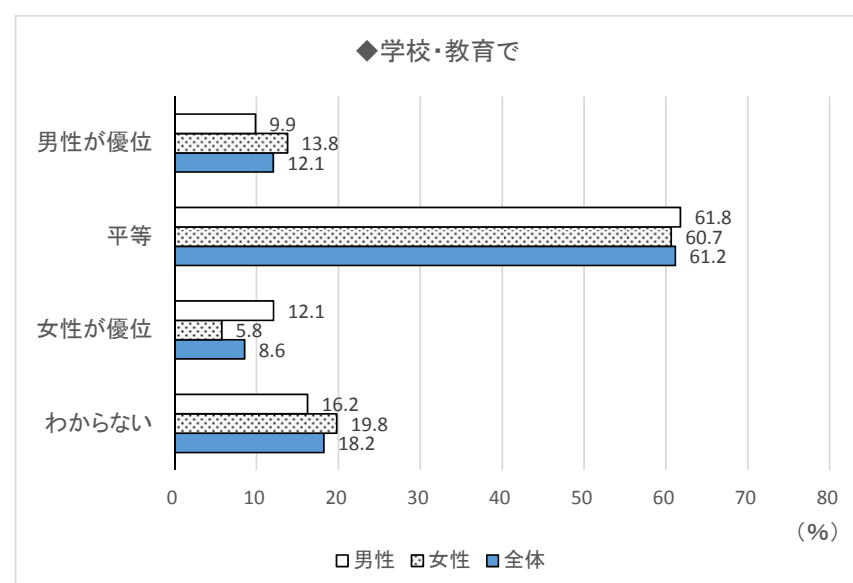
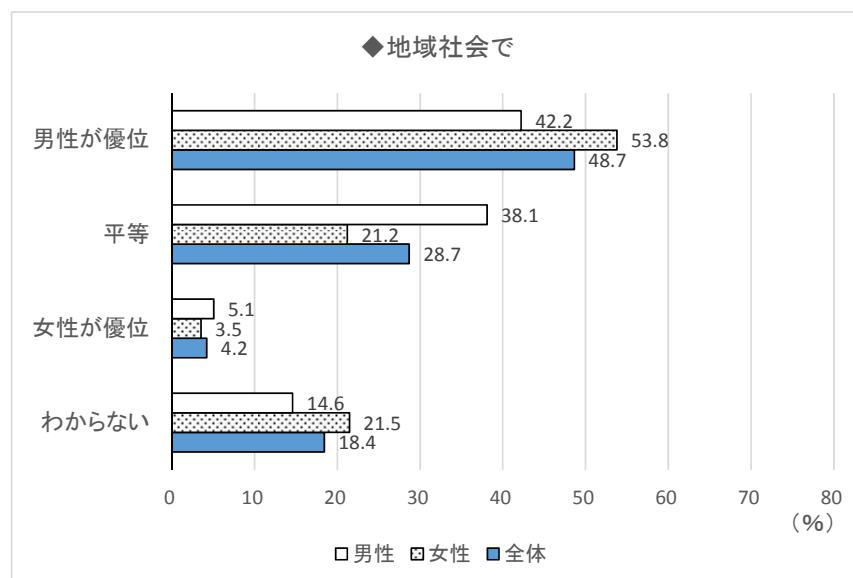
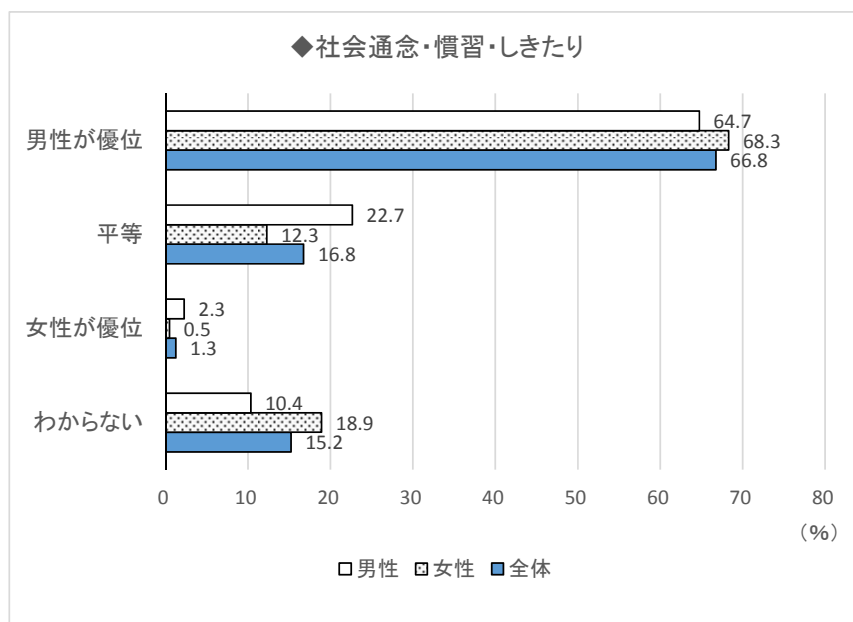


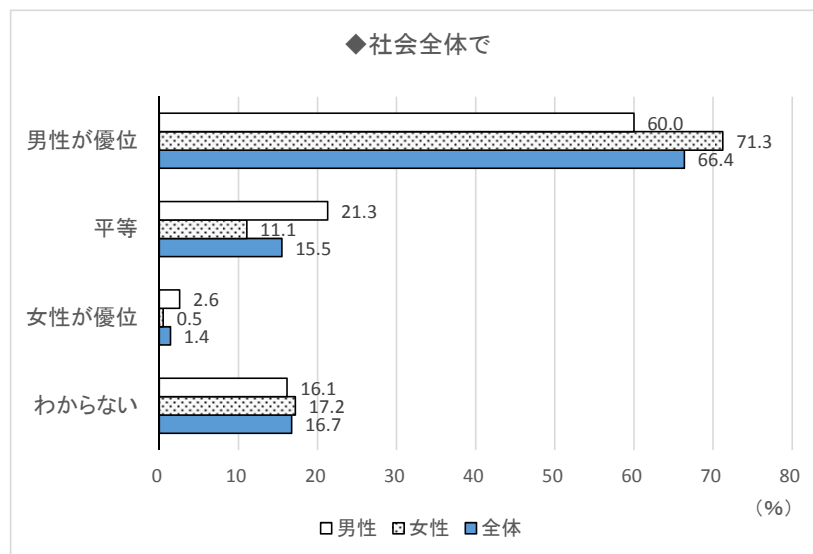
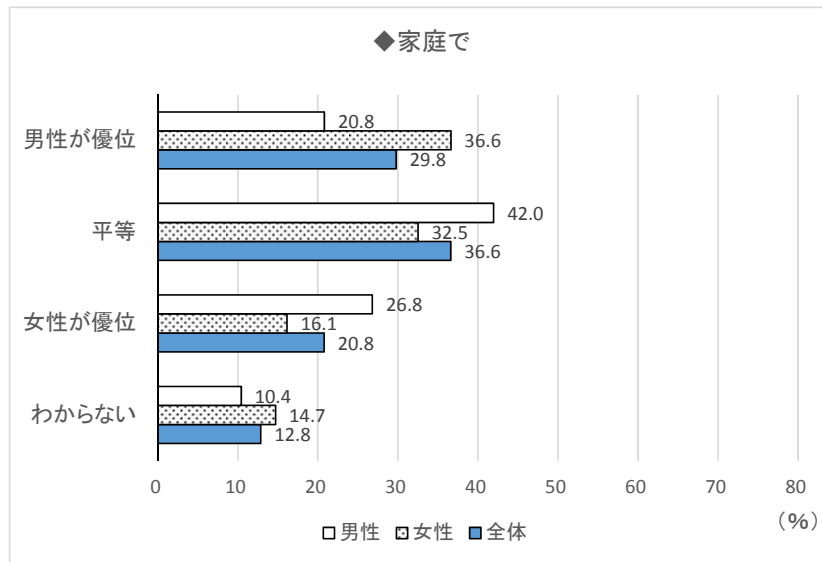
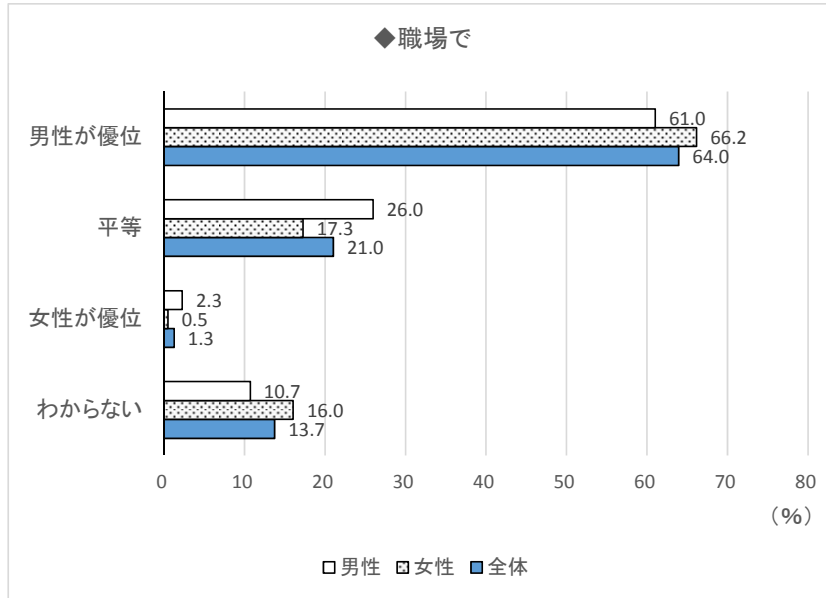


◆男女が共に家事、子育てや教育、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だとお考えですか。【複数回答】

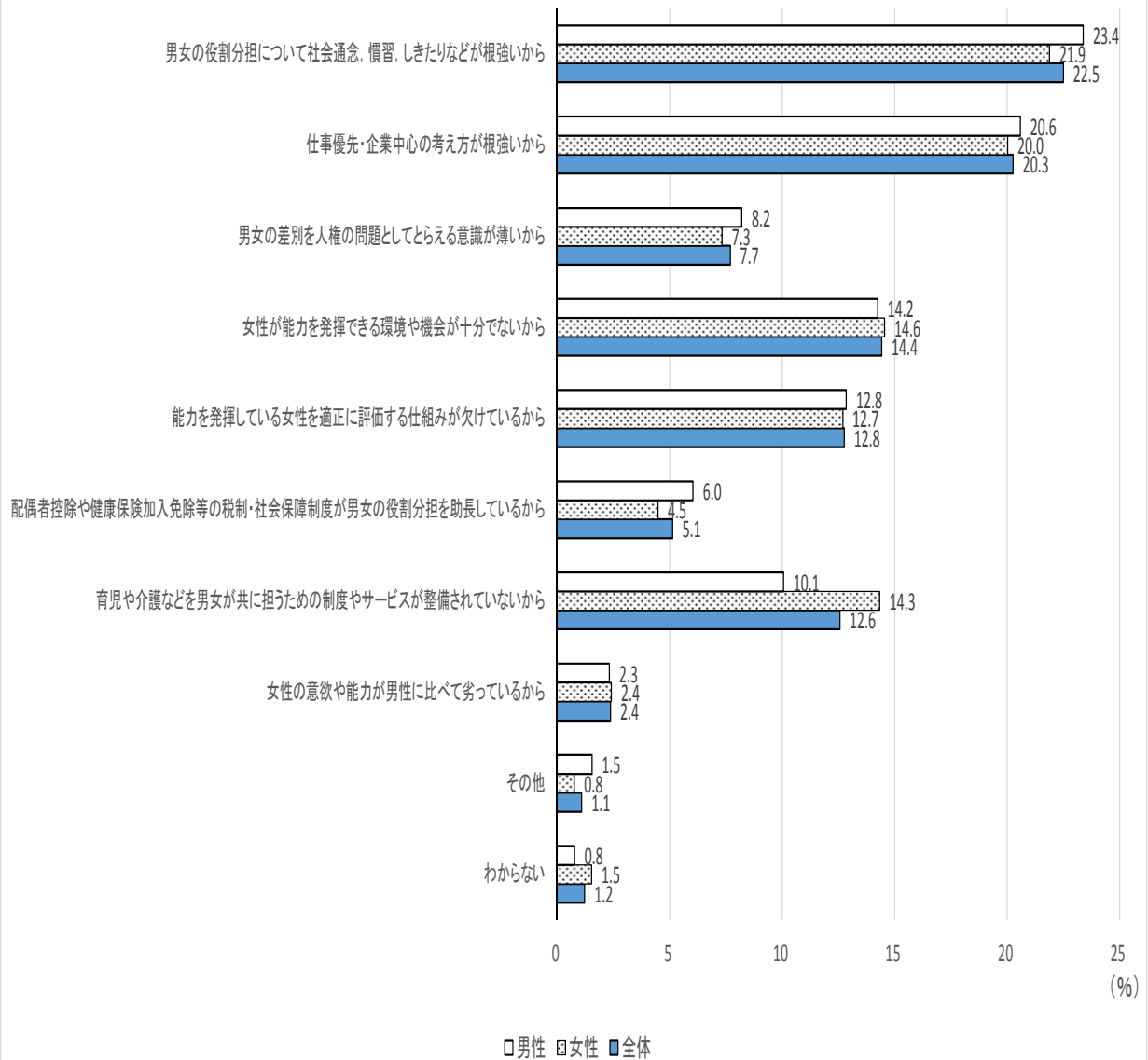


Ⅲ 各分野における男女の地位

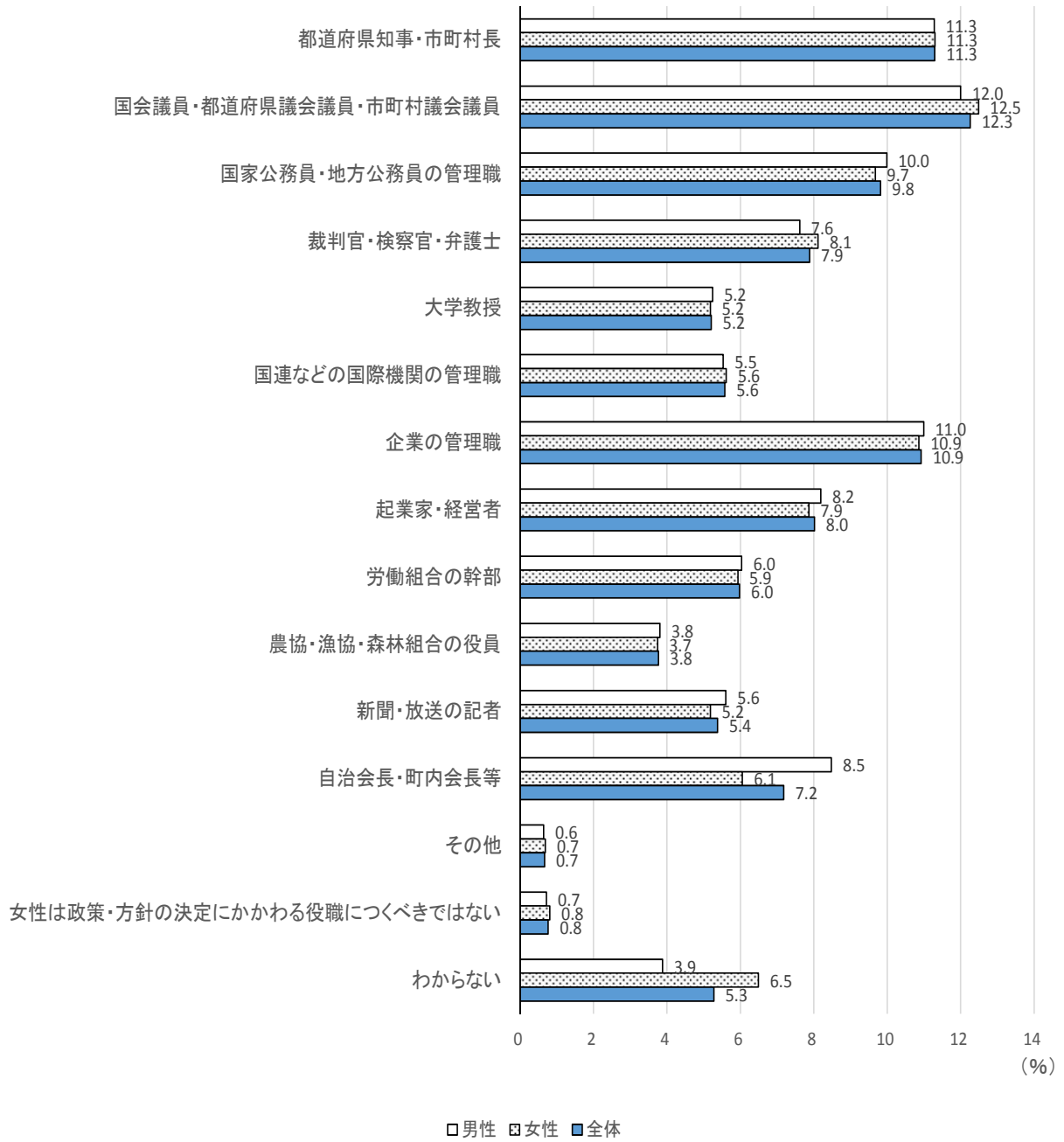




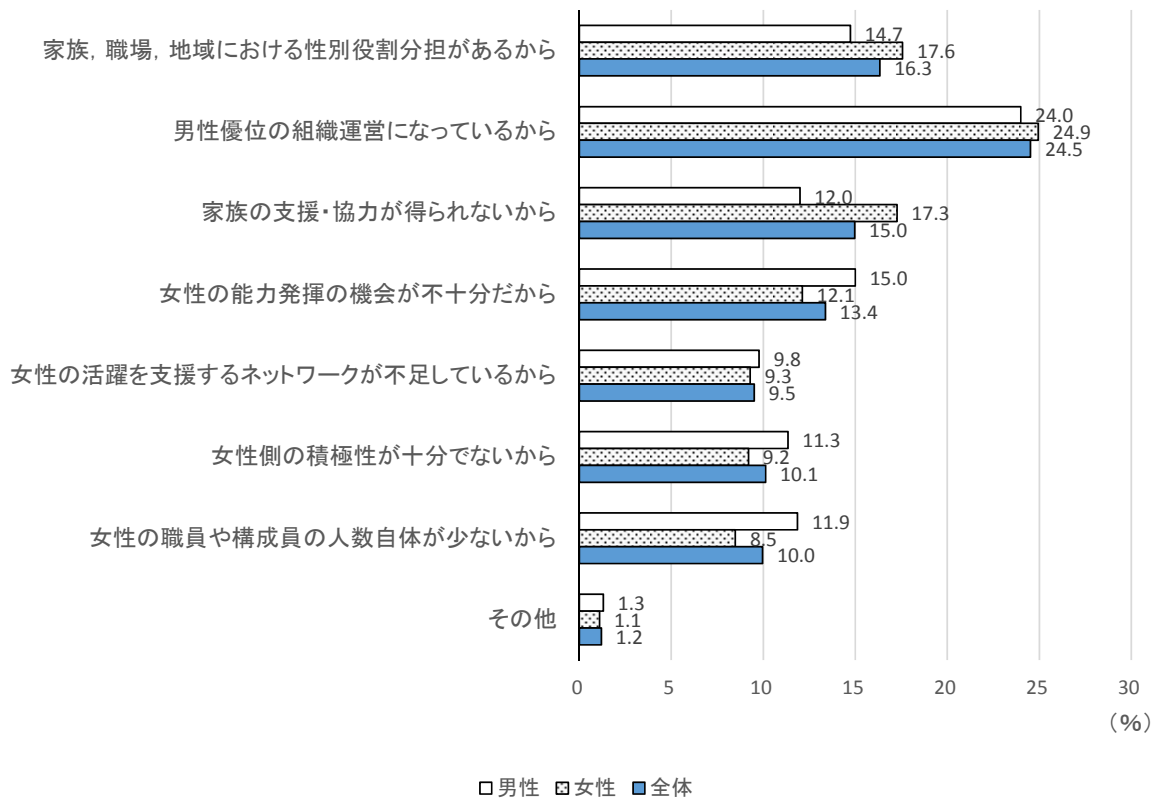
◆男性が優位となっている原因は何だとお考えですか。(社会全体で男性が優位と回答した方のみ)【複数回答】



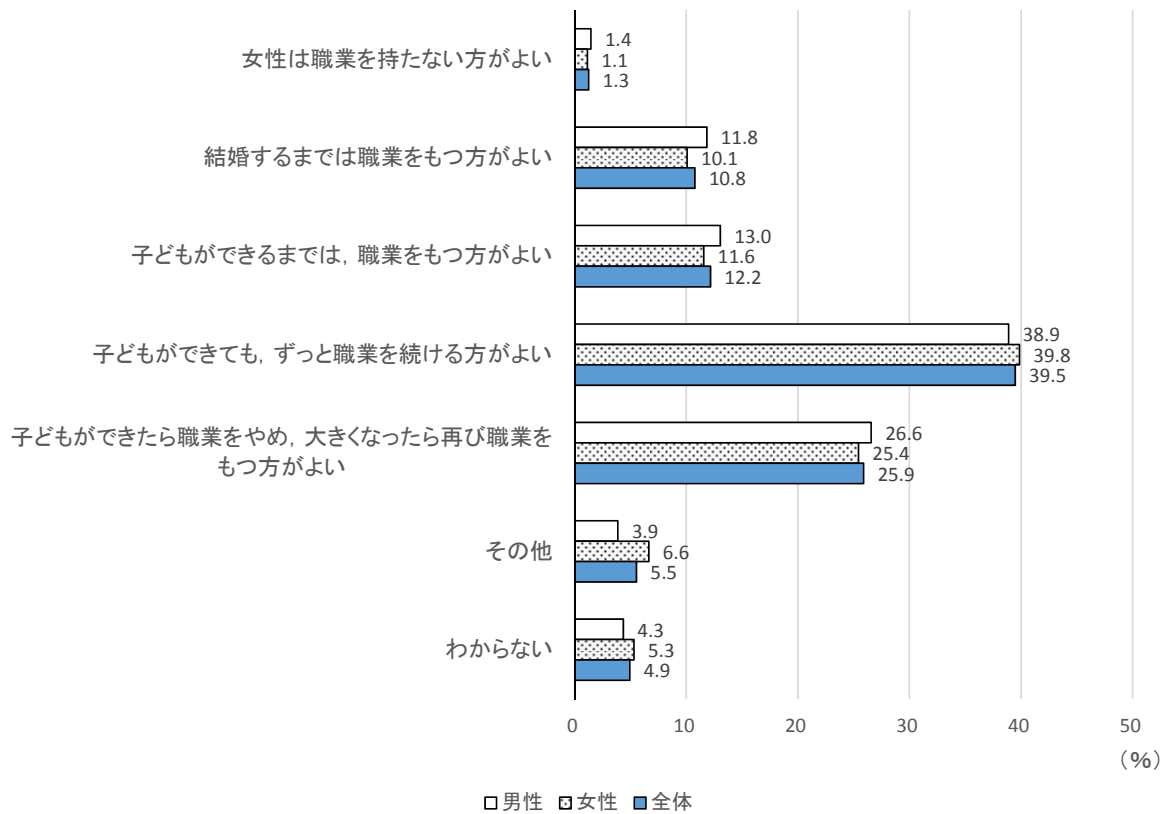
◆政策・方針決定にかかる役職において、今後女性がもっと増える方がよいと思うものは何ですか。【複数回答】



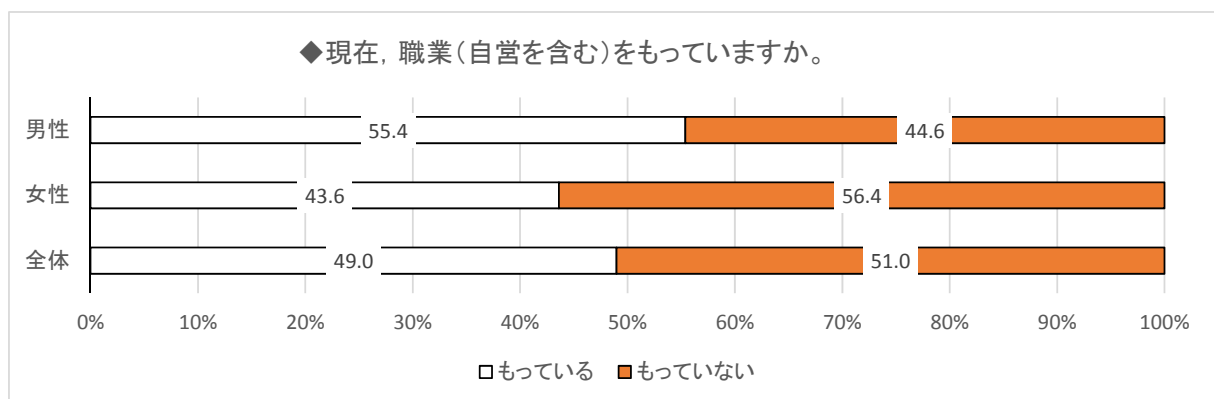
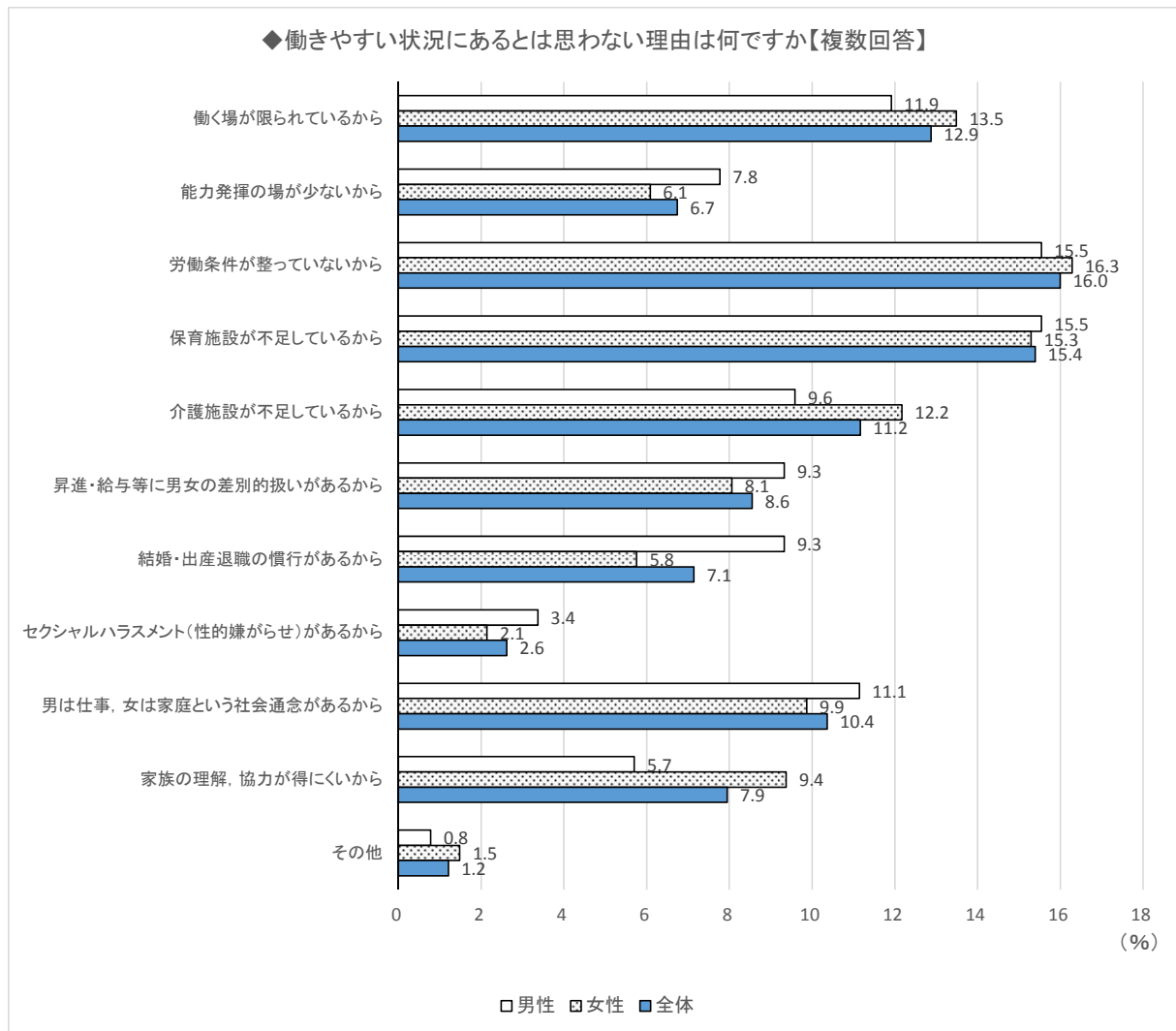
◆政策・方針決定にかかわる役職に女性があまり進出していない理由は何だと思
いますか。【複数回答】



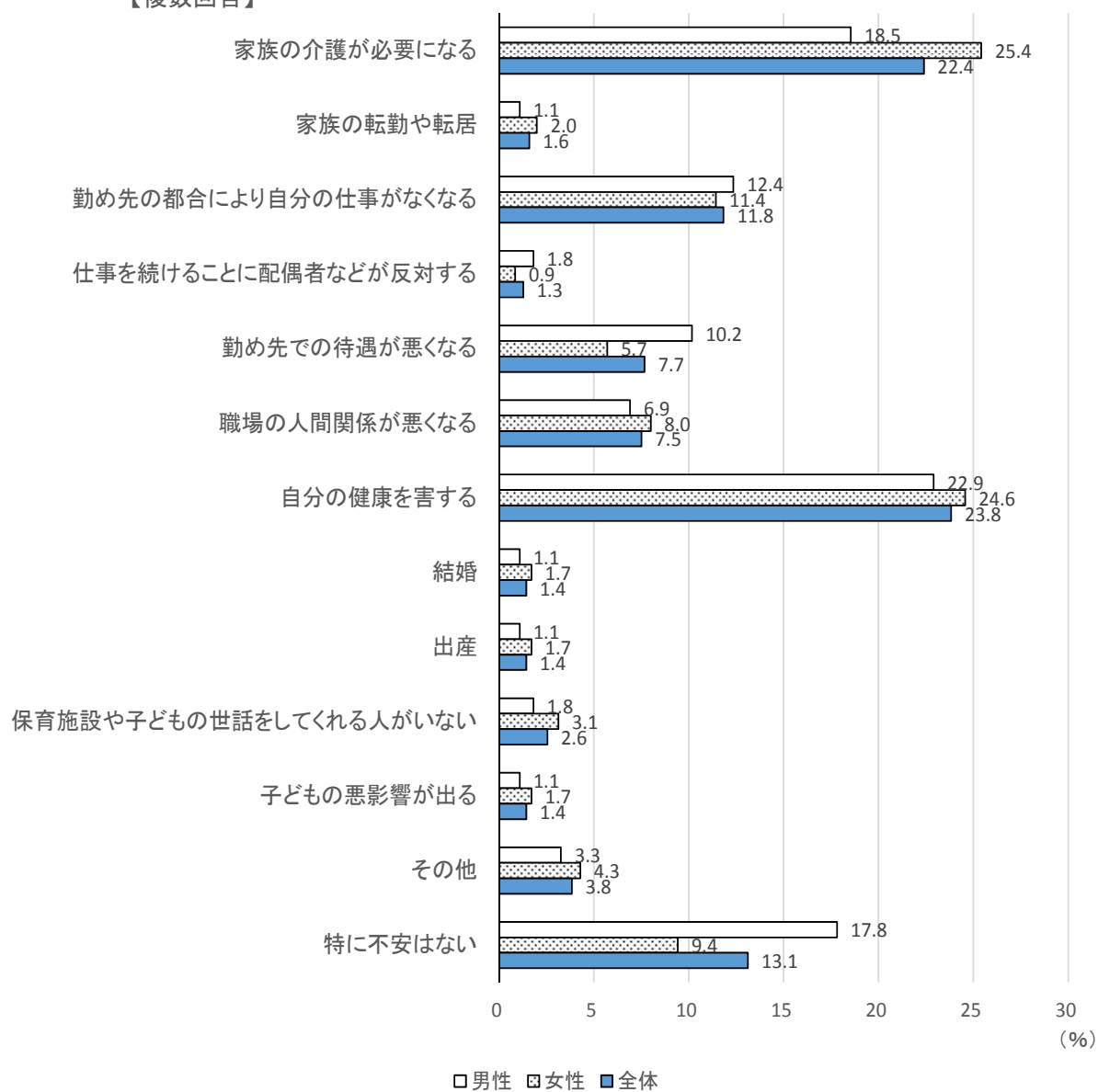
◆一般的に女性が職業をもつことについて、どう思いますか。



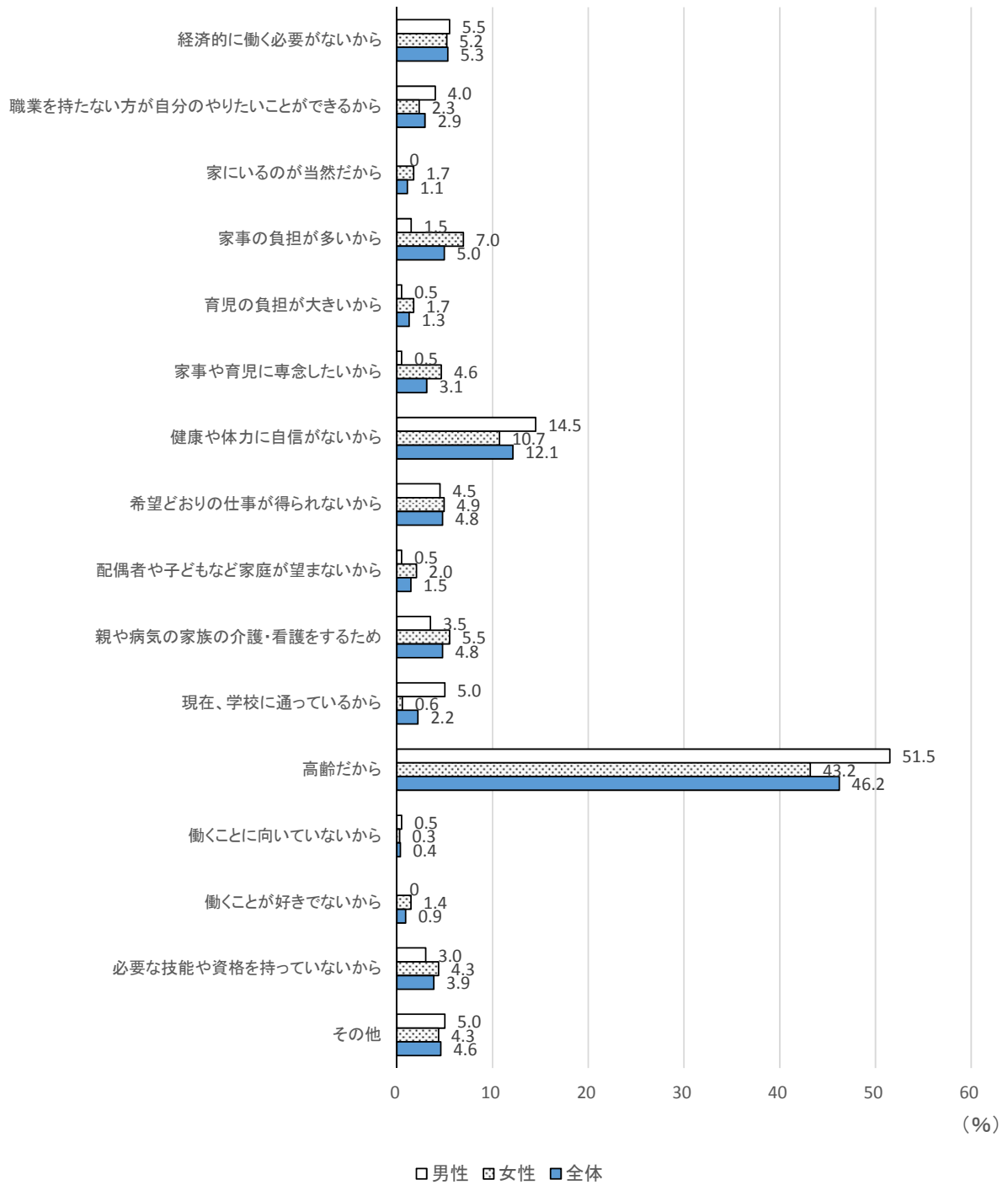
IV 地域社会, 家庭の中での男女平等について



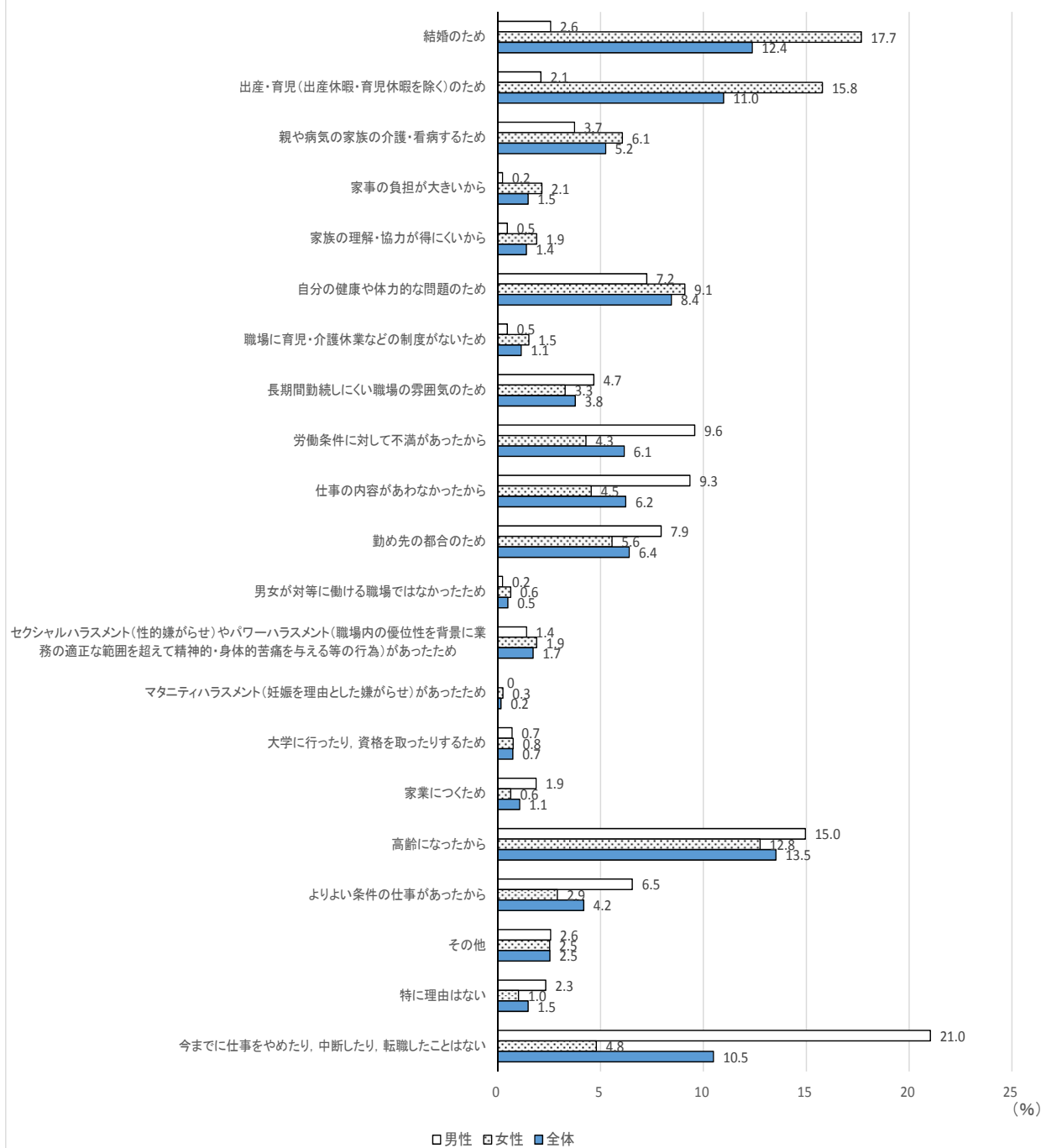
◆今の仕事を続けられなくなるかもしれないという不安があるとすれば何ですか。
【複数回答】



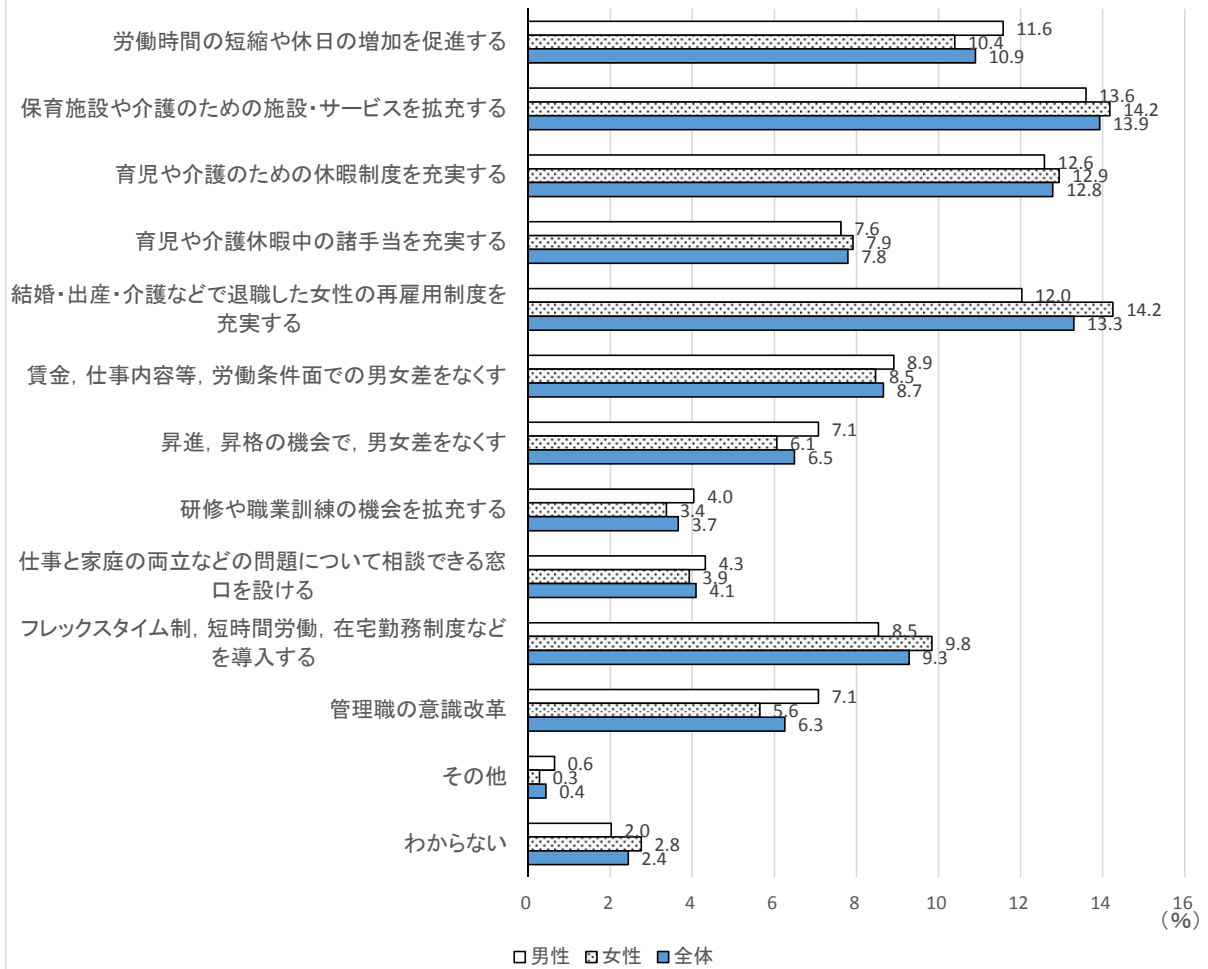
◆働いていない理由は何ですか。【複数回答】



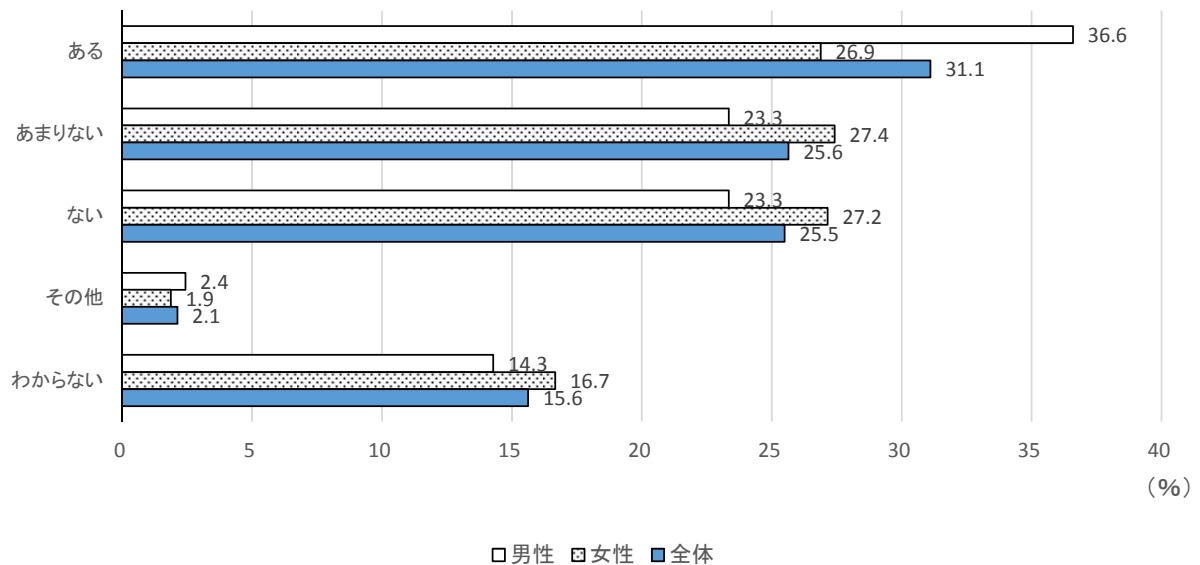
◆仕事をやめたり、中断したり、転職したことがある場合、その理由は何ですか。【複数回答】



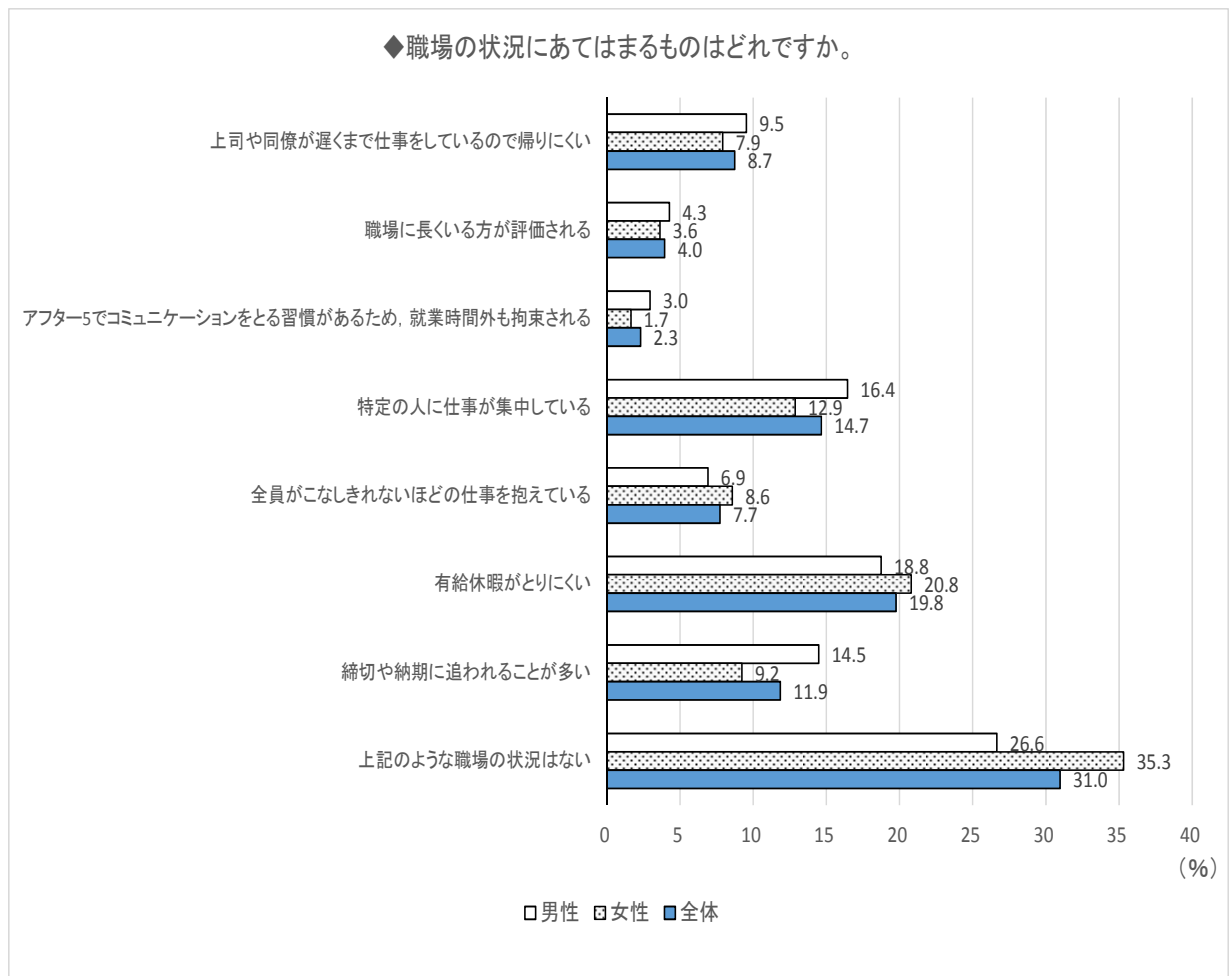
◆「仕事と生活の調和」を図るためには、どのような条件の整備が必要だと考えますか。
【複数回答】



◆家庭や地域活動に関わりたいと思っても、長時間労働や休日出勤などのため、関われないということがありますか。

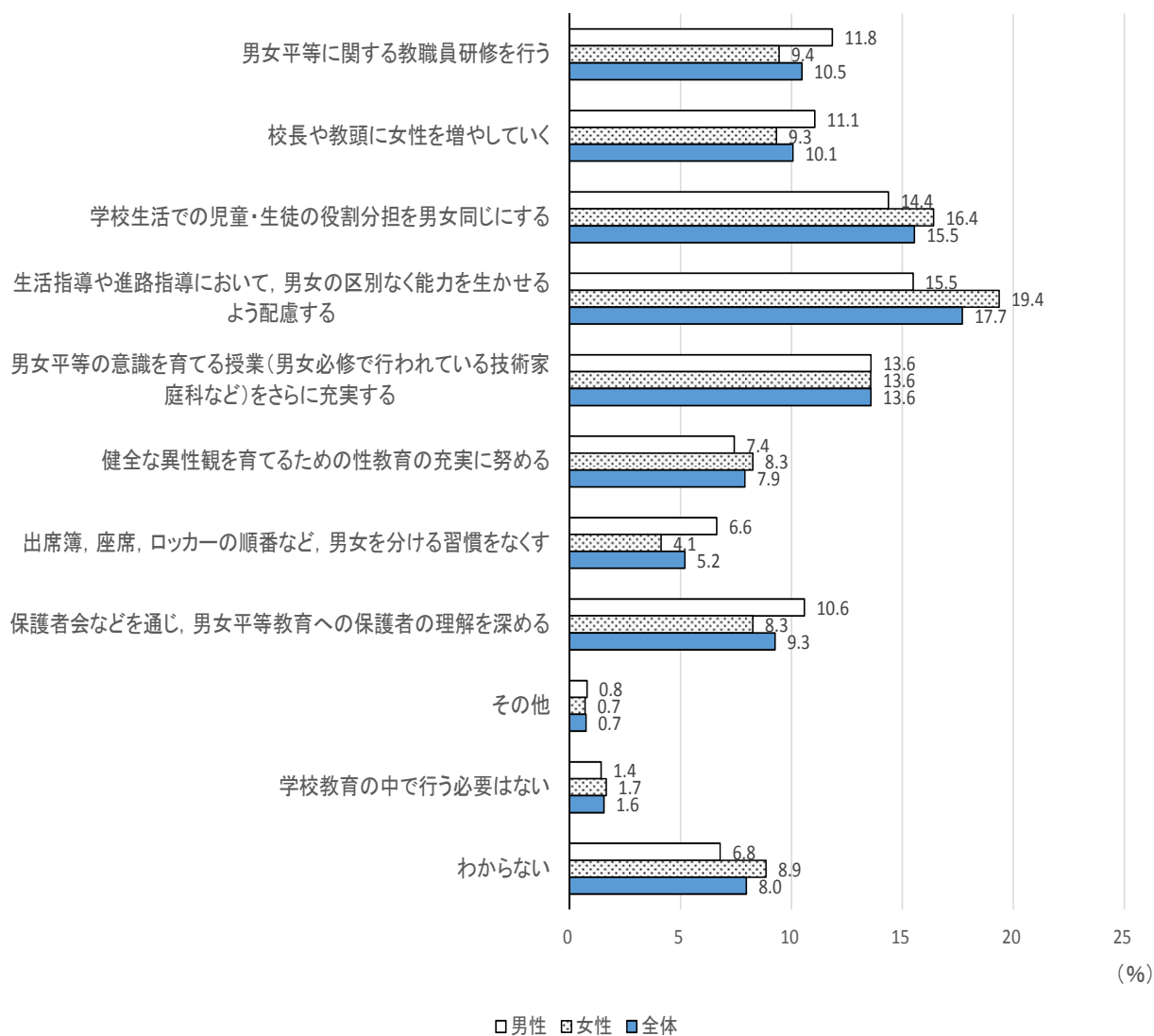


V 職場の中での男女平等について

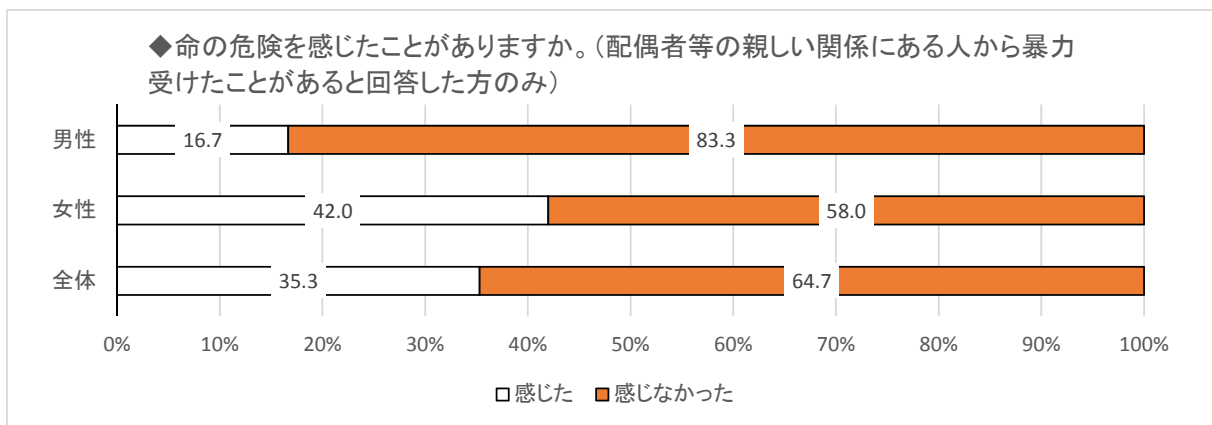
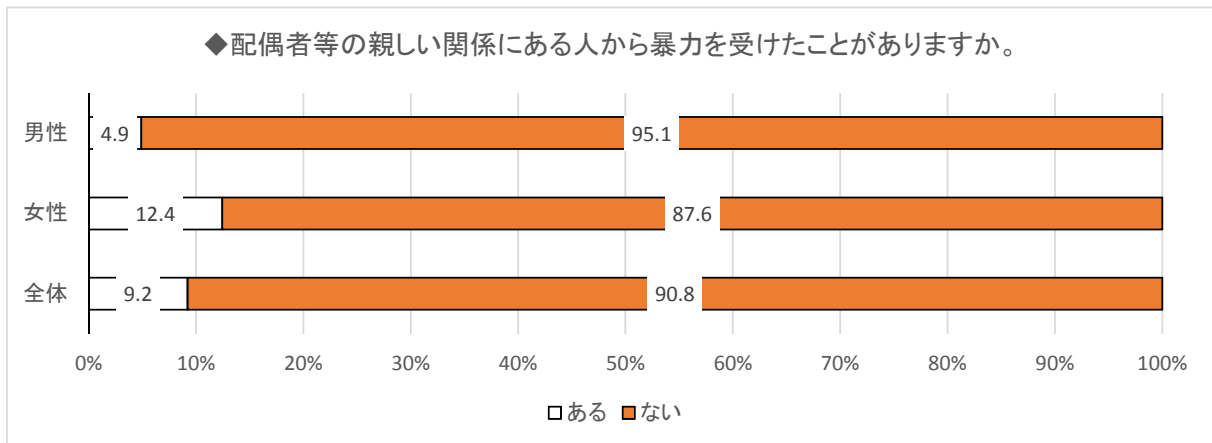


VI 学校の中での男女平等について

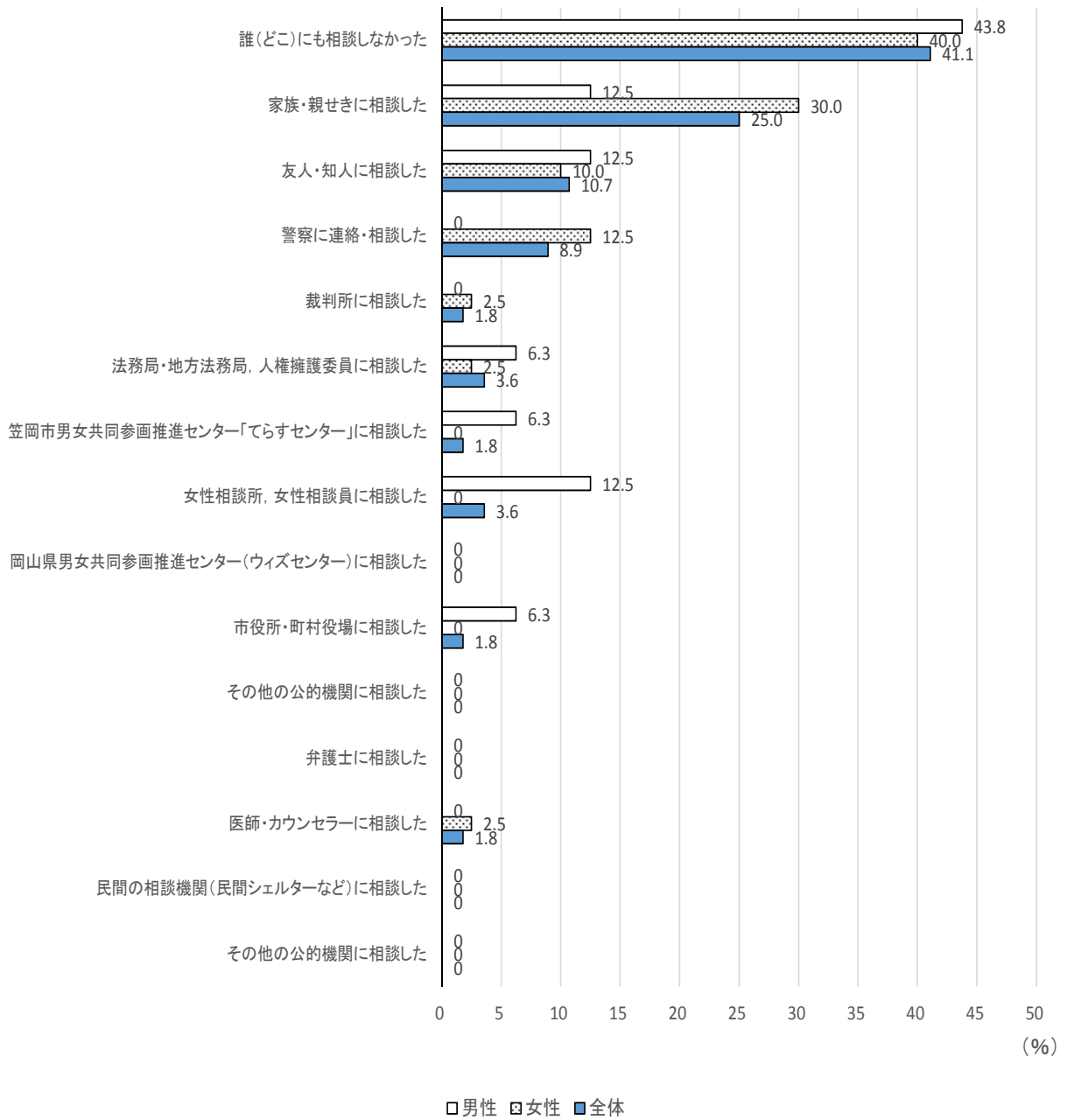
◆学校、特に小・中・高等学校等で、男女平等を推進していくために、行うとよいと思うものはどんなことでしょうか。【複数回答】



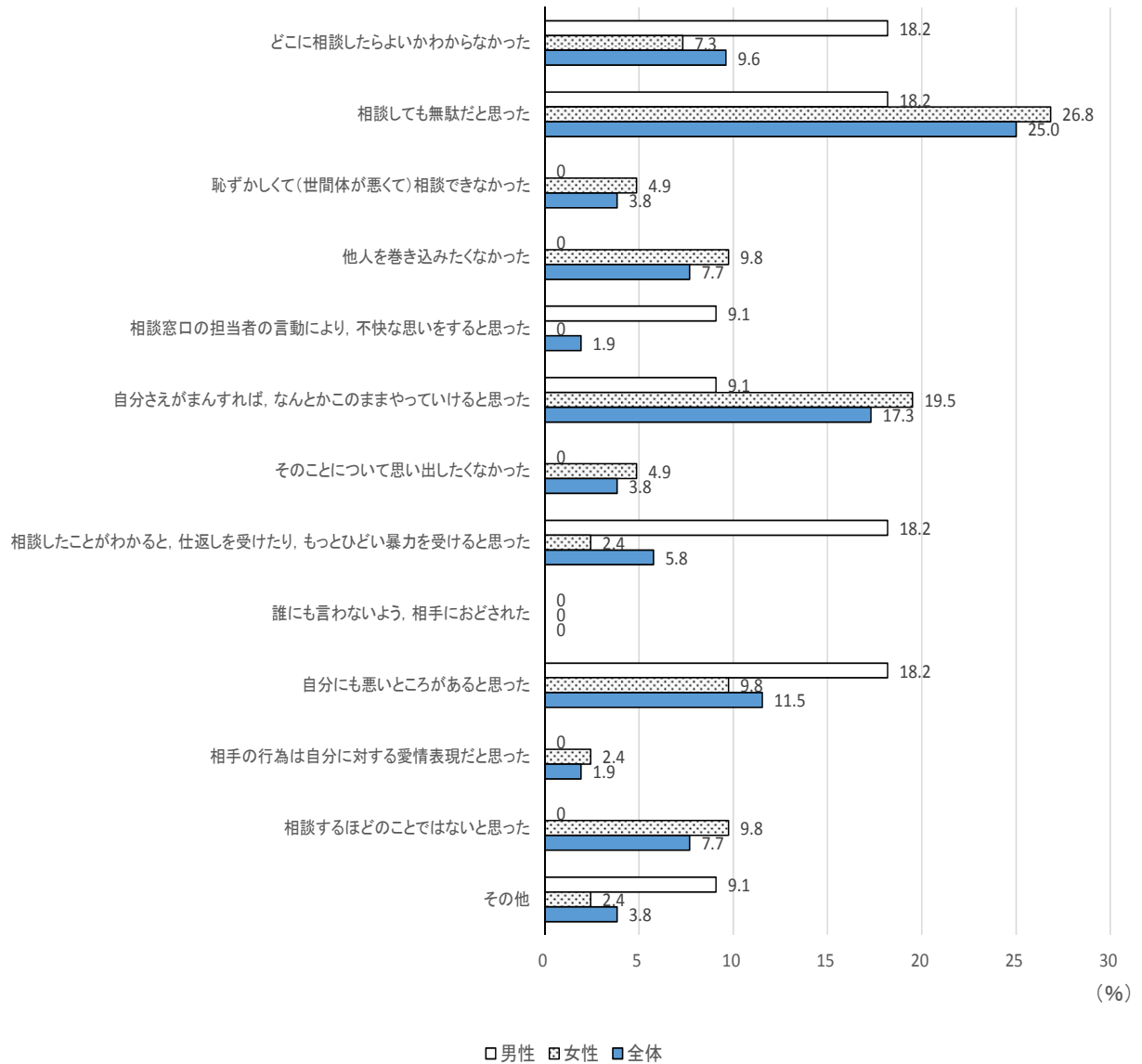
VII 男女間の暴力について



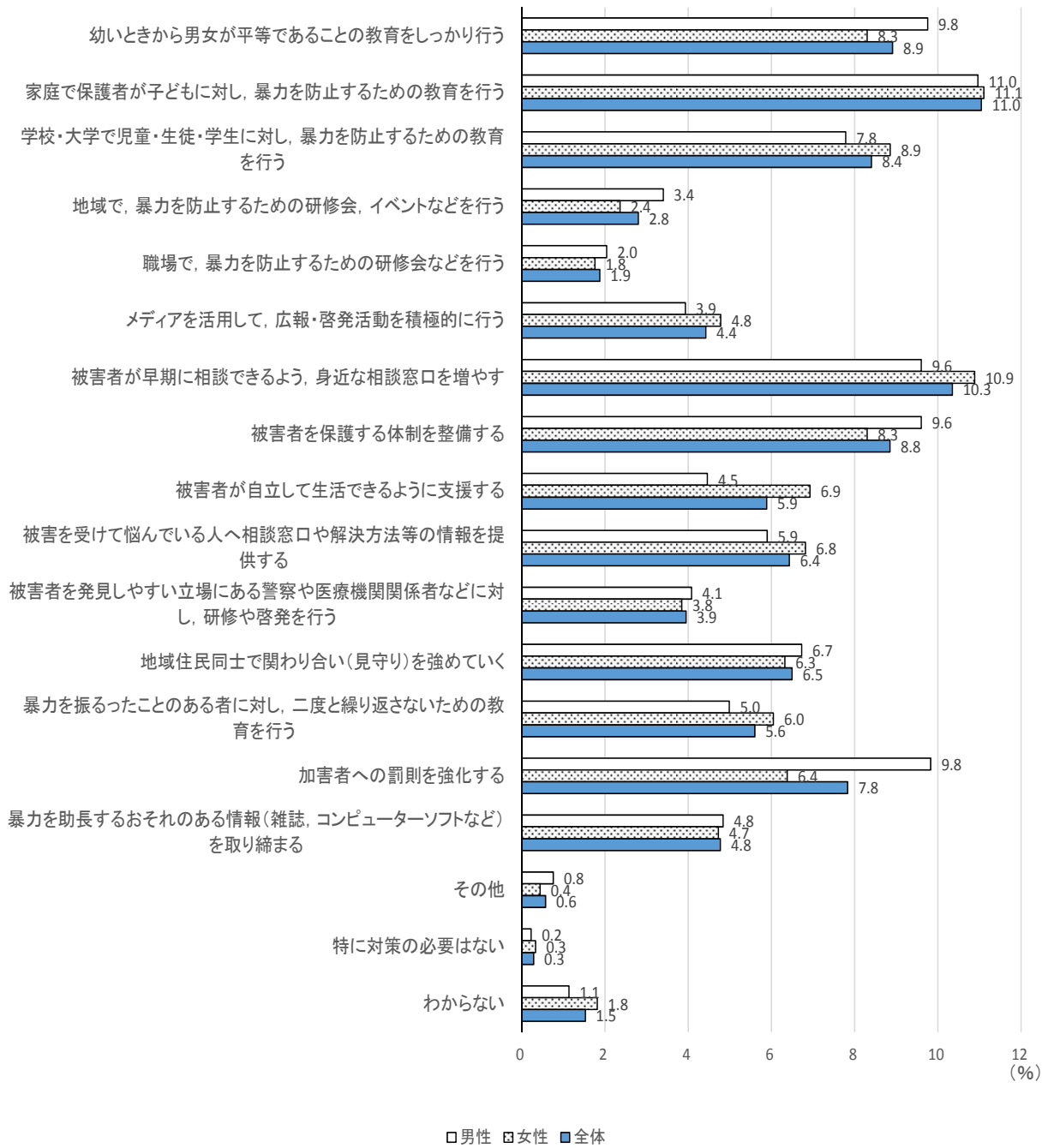
◆配偶者等の親しい関係にある人から暴力を受けたとき、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(相手の行為によって命の危険を感じたことがあると回答した方のみ)【複数回答】



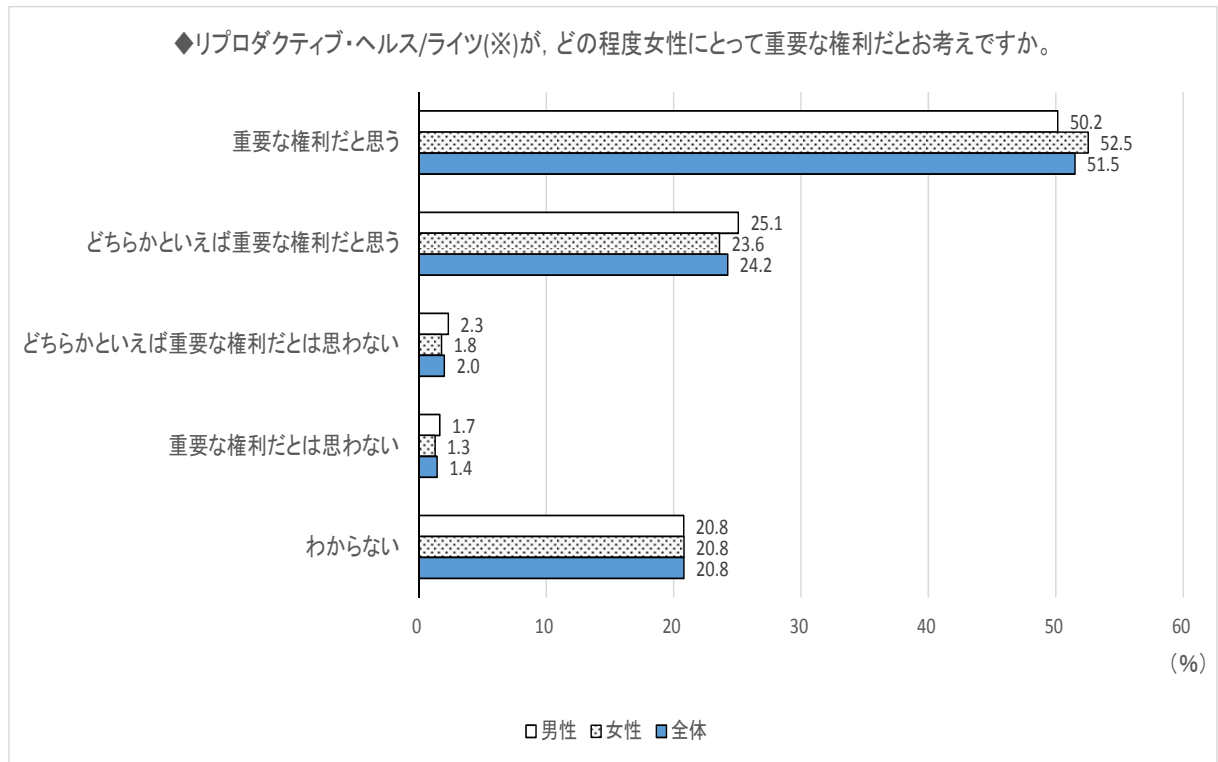
◆相談しなかった理由は何ですか。(相手の行為によって命の危険を感じたことがある方で、どこにも相談しなかったと回答した方のみ)【複数回答】



◆暴力をなくすためには何が必要だと思いますか。【複数回答】



VIII 生涯を通じた男女の健康について



(※) 性と生殖に関する健康と権利 (リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)

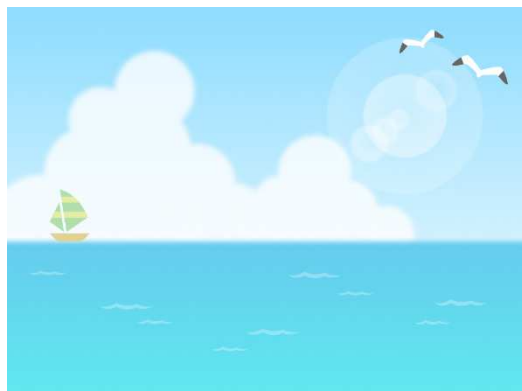
平成6(1994)年の国際人口/開発会議で提唱された考え方で、女性の重要な人権のひとつとされています。

性と生殖に関する健康 (リプロダクティブ・ヘルス)

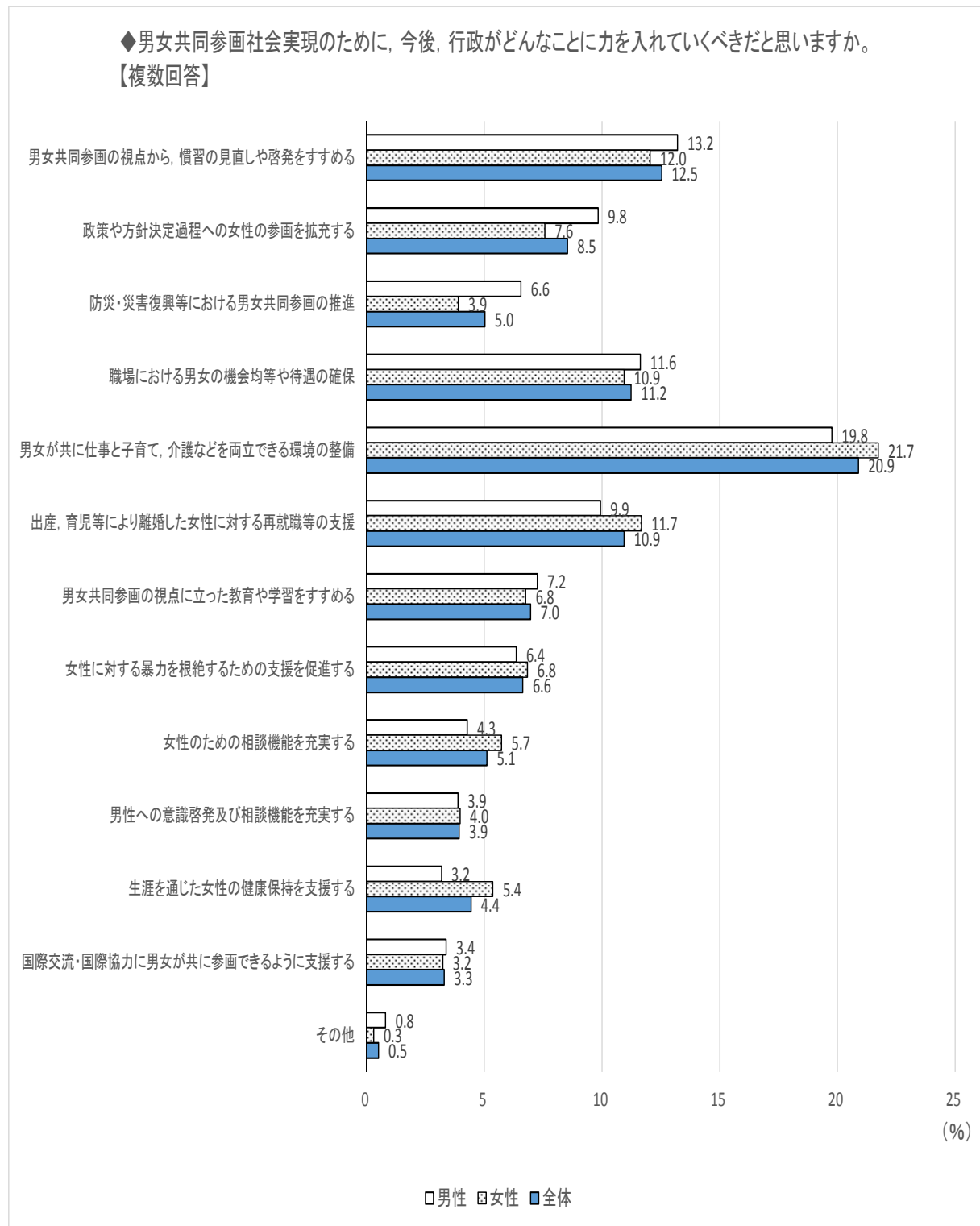
人間の生殖システム、その機能と(活動)過程のすべての側面において、単に疾病、障がいがないというばかりでなく、身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態にあること。

性と生殖に関する権利 (リプロダクティブ・ライツ)

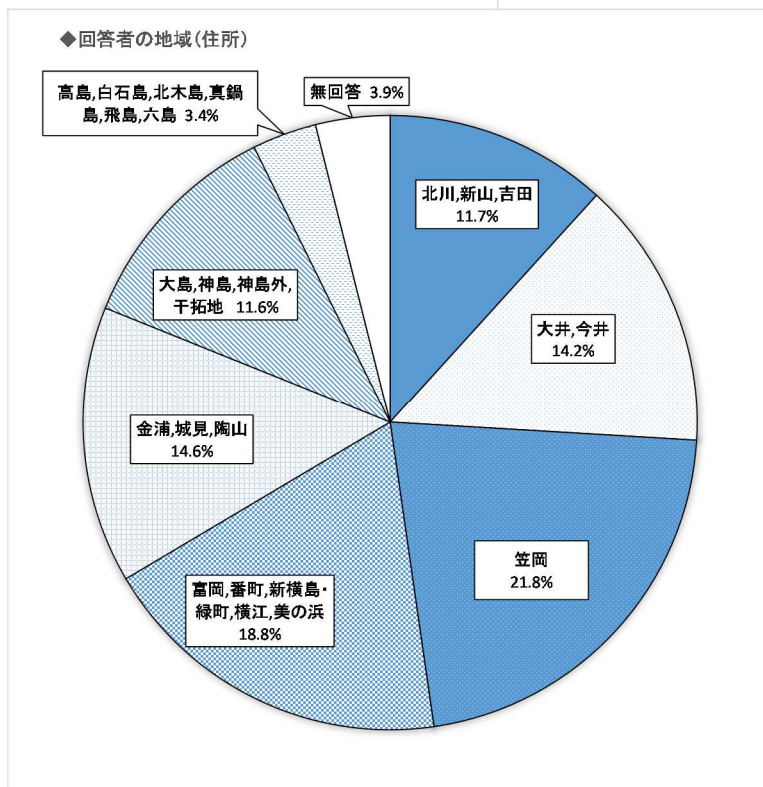
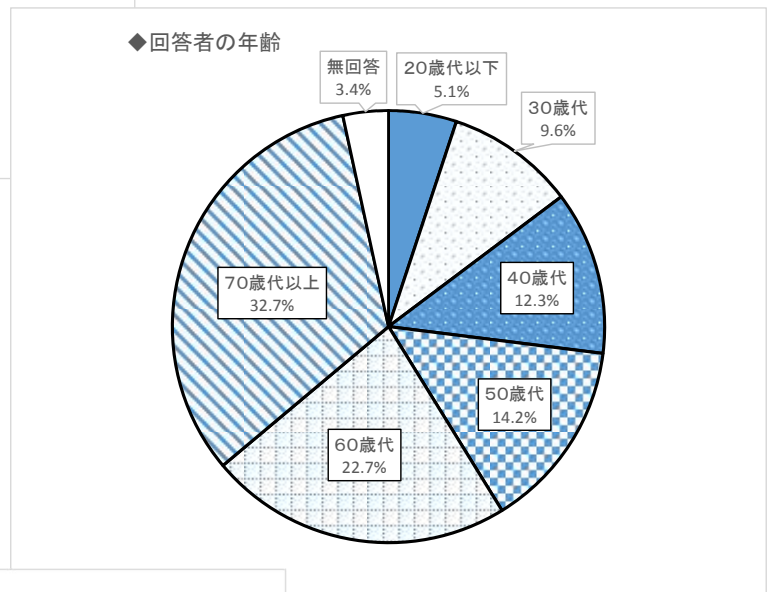
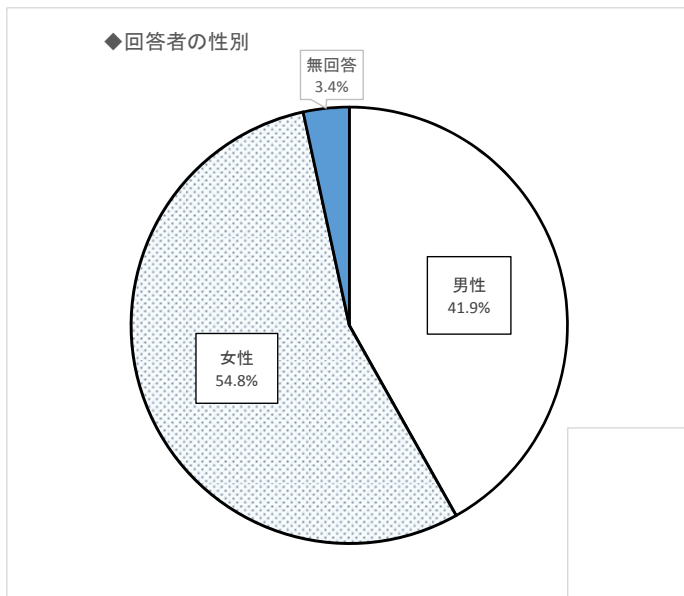
すべてのカップルと個人が自分たちの子どもの数、出産間隔、並びに出産する時を責任をもって自由に決定でき、そのための情報と手段を得ること。

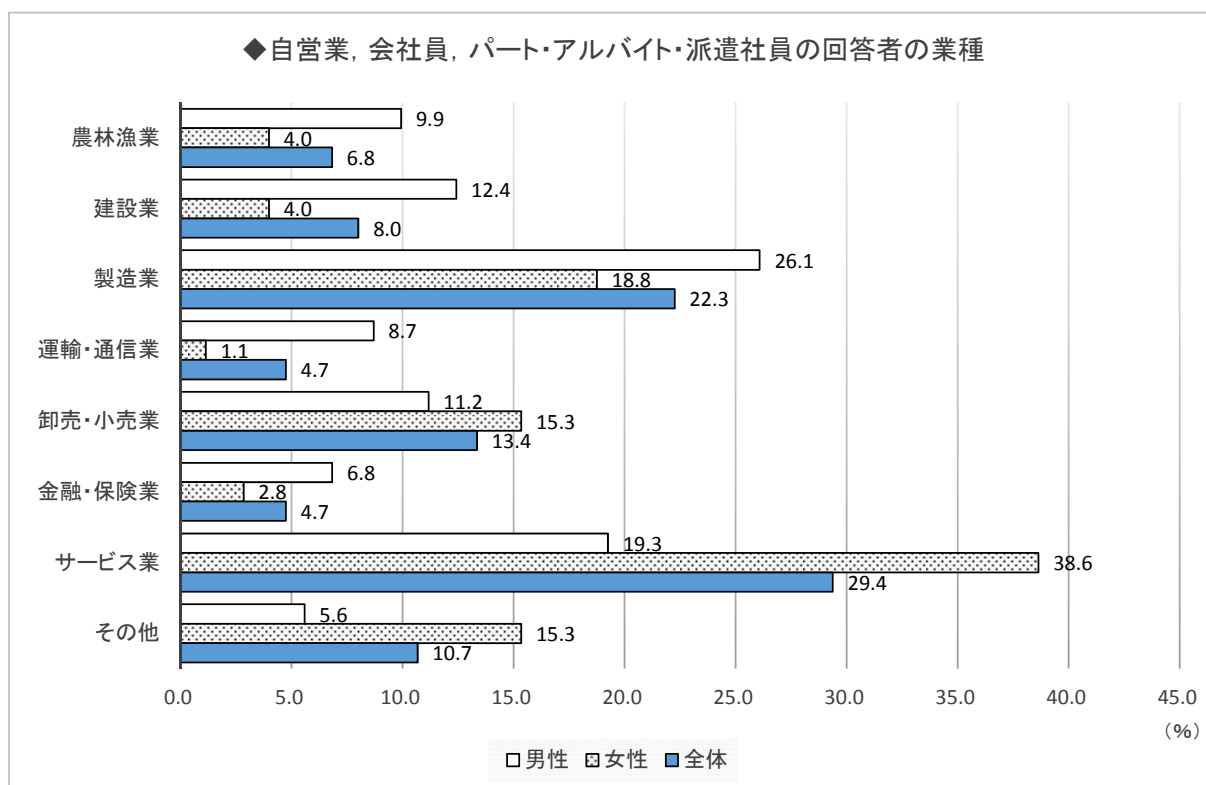
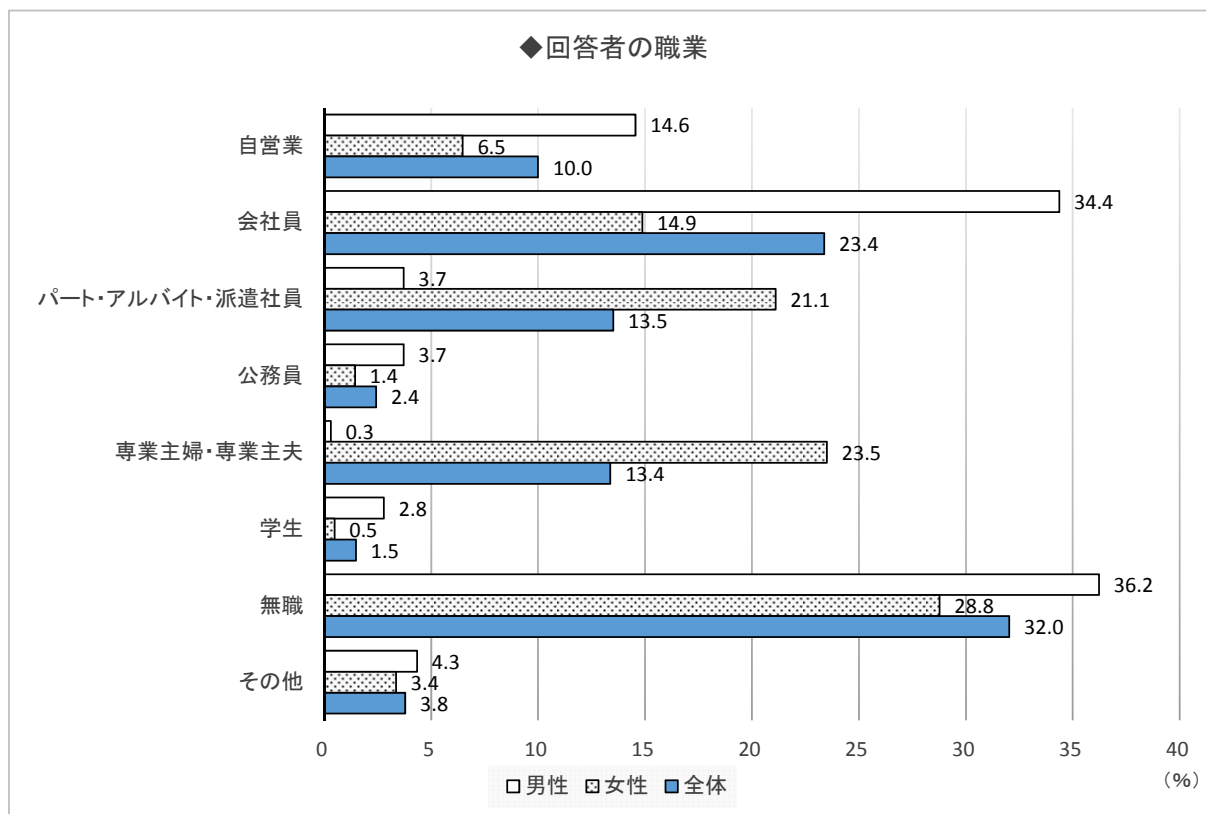


IX 男女共同参画社会の実現について

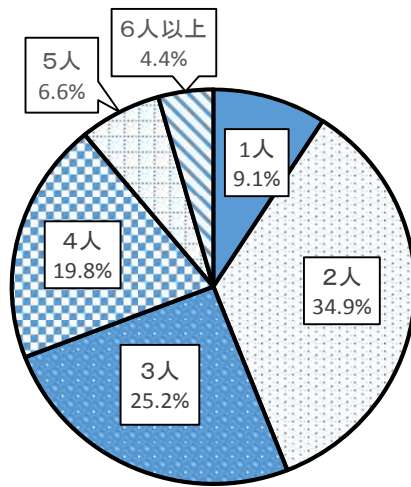


Ⅷ 回答者について

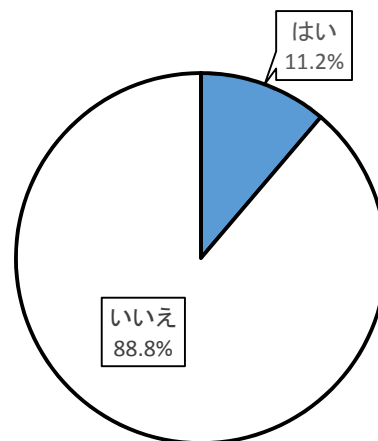




◆あなたを含む同居の家族は何人ですか。



◆中学生以下の子どもを育てていますか。



◆同居の家族(あなた以外)に65歳以上の高齢者がいますか。

